

湯浅町国民健康保険 第2期データヘルス計画

平成30年3月
湯浅町

第1章 計画策定について		
1. 背景		3
2. 計画期間		3
3. データヘルス計画の位置づけ		4
4. 実施体制・関係者連携		4
第2章 現状と課題把握		
1. 保険者の特性把握		5
(1) 基本情報		5
(2) 医療費等の状況		6
(3) 特定健康診査受診状況		7
(4) 特定健康診査質問票の状況		9
(5) 有所見者の状況		10
(6) がん検診の状況		12
(7) 介護保険の状況		13
(8) 死因の状況		16
2. 医療情報分析結果		17
(1) 基礎統計		17
(2) 高額レセプトの件数及び医療費		19
①高額レセプトの件数及び割合		19
②高額レセプト発生患者の疾病傾向		21
(3) 疾病別医療費		23
①大分類による疾病別医療費統計		23
②中分類による疾病別医療費統計		27
3. 保健事業実施に係る分析結果		37
(1) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析		37
(2) ジェネリック医薬品普及率に係る分析		41
4. 過去の取り組みの考察（第1期データヘルス計画の振り返り）		43
5. 分析結果に基づく健康課題の把握		47
第3章 保健事業実施計画		
1. 各事業の目的と概要一覧		49
2. 各事業の実施内容と評価方法		51
(1) 特定健診未受診者対策		51
(2) 特定保健指導事業		52
(3) がん検診事業		53
(4) 糖尿病性腎症重症化予防事業		54
(5) ジェネリック医薬品差額通知事業		55
(6) 健康教室事業		56
第4章 その他		
1. データヘルス計画の見直し		57
(1) 評価		57
(2) 評価時期		57

2. 計画の公表・周知	57
3. 個人情報の取り扱い	57
4. 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項	57
巻末資料	
1. 用語解説集	巻末資料1
2. 疾病分類表（2013年版）	巻末資料2

第1章 計画策定について

1. 背景

「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)においては、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市区町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」としている。データヘルス計画には健康・医療情報(健康診査の結果やレセプト等から得られる情報)を活用し、健康状態や健康課題を客観的な指標を用いて示すこととある。また、これら分析結果を踏まえ、直ちに取り組むべき健康課題、中長期的に取り組むべき健康課題を明確にし、目標値の設定を含めた事業内容の企画を行うこととしている。実施計画に基づく事業の実施に当たっては、費用対効果を考慮することや、レセプトを活用し、生活習慣の改善により予防効果が大きく期待できる者を明確にし、優先順位をつけて行うこととある。

また、「日本再興戦略2016」(平成28年6月2日閣議決定)においては、「データヘルス計画を通じた企業や保険者等による健康・予防に向けた取組を強化する。」としている。こうした背景を踏まえて策定した第1期データヘルス計画を見直すとともに、第2期データヘルス計画を策定して、被保険者の健康維持増進を図る。

レセプトを用いた現状分析は、医療費分解技術、傷病管理システム、レセプト分析システムおよび分析方法を用いて行うものとする。

※医療費分解技術(特許第4312757号)

レセプトに記載されたすべての傷病名と診断行為(医薬品、検査、手術、処置、指導料等)を正しく結び付け、傷病名毎の医療費を算出する。

※傷病管理システム(特許第5203481号)

レセプトに記載されている傷病識別情報、医薬品識別情報及び診療行為識別情報に基づき、傷病の重症度を判定する。

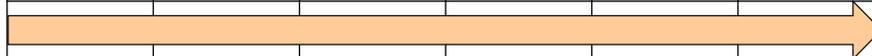
※レセプト分析システムおよび分析方法
(特許第5992234号)

中長期にわたるレセプトから特定の患者についてアクティブな傷病名とノンアクティブな傷病名を識別する。

2. 計画期間

本データヘルス計画の計画期間は、「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」第4の5において、「特定健康診査等実施計画及び健康増進計画との整合性を踏まえ、複数年とすること」とされていることから、第3期特定健康診査等実施計画期間である、平成30年度から平成35年度の6年間とする。

■ 計画期間

平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
					

3. データヘルス計画の位置づけ

「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21(第2次))」に示された基本方針を踏まえるとともに、「都道府県健康増進計画」及び「湯浅町健康増進計画」で用いた評価指標を用いる等、それぞれの計画と整合性を図る必要がある。

4. 実施体制・関係者連携

本データヘルス計画の遂行に当たっては、保険担当部局が主体となり、関係部局(保健衛生、介護部門等)・保健師・栄養士等の専門職と連携して事業を推進する。

■ データ分析期間

- ・ 国保データベース(KDB)システムデータ
平成26年度～平成28年度(3年分)

- ・ 入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト
単年分析
平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)
年度分析
平成26年度…平成26年4月～平成27年3月診療分(12カ月分)
平成27年度…平成27年4月～平成28年3月診療分(12カ月分)
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)

- ・ 健康診査データ
単年分析
平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)
年度分析
平成26年度…平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)
平成27年度…平成27年4月～平成28年3月健診分(12カ月分)
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)

第2章 現状と課題把握

1. 保険者の特性把握

(1) 基本情報

KDB(国保中央会が提供する国保データベースシステム)に基づく本町の平成28年度における、人口構成概要を以下に示す。高齢化率(65歳以上)は28.1%であり、県との比較でほぼ等倍、同規模との比較で0.9倍となっている。また、国民健康保険被保険者数は4,274人で、町の人口に占める国民健康保険加入率は32.6%である。国民健康保険被保険者平均年齢は49.7歳である。

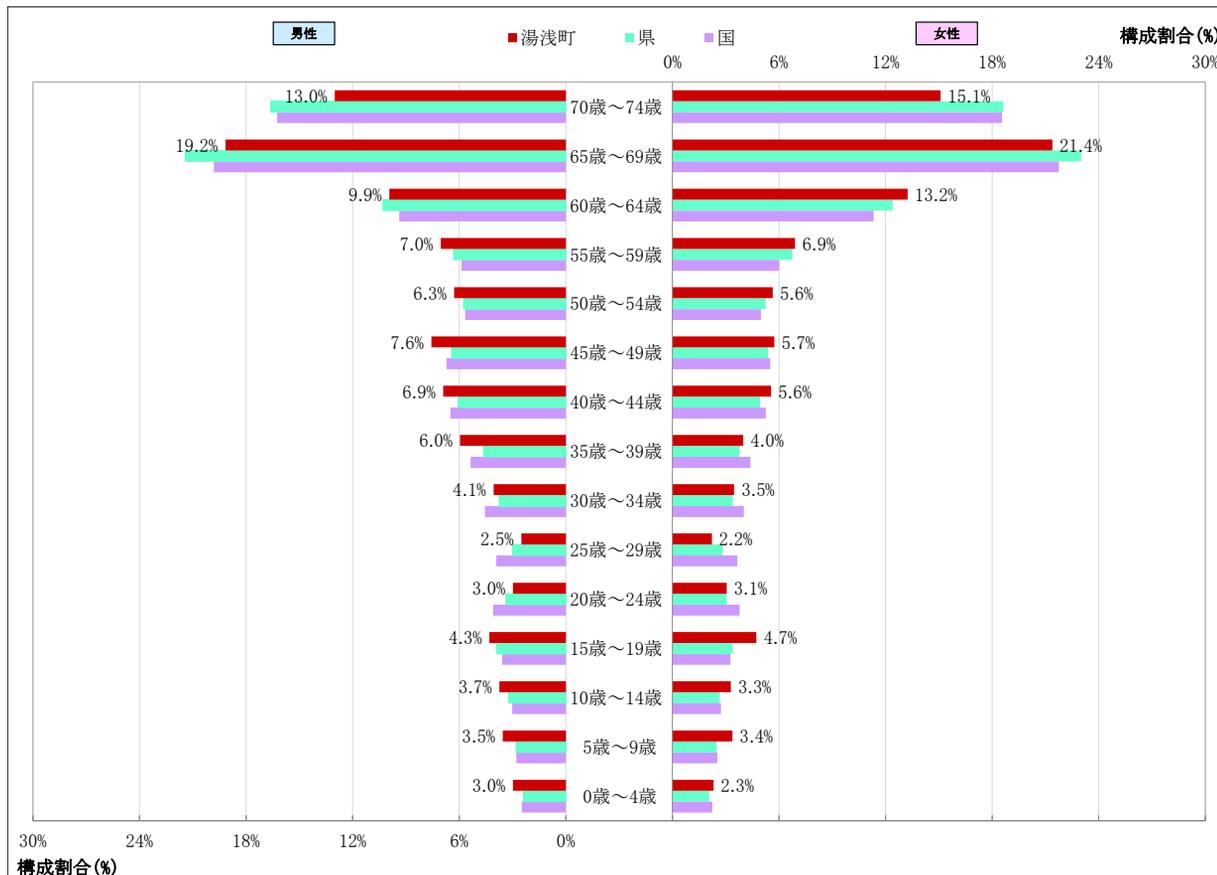
人口構成概要(平成28年度)

	人口総数(人)	高齢化率(65歳以上)	出生率	死亡率	国保被保険者数(人)	国保加入率	国保被保険者平均年齢(歳)
湯浅町	13,130	28.1%	7.6%	14.2%	4,274	32.6%	49.7
県	987,175	27.3%	7.7%	12.2%	281,805	28.5%	51.9
同規模	12,310	29.6%	6.9%	13.7%	3,354	26.6%	53.5
国	124,852,975	23.2%	8.6%	9.6%	32,587,223	26.9%	50.7

※「県」は和歌山県を指す。以下すべての表において同様である。

出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

男女・年齢階層別 被保険者構成割合(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「人口及び被保険者の状況」

(2) 医療費等の状況

本町の平成28年度における、医療基礎情報を以下に示す。

外来について、一件当たり医療費、一人当たり医療費、一日当たり医療費共に国、同規模、県を下回っている。

医療基礎情報(平成28年度)

医療項目	湯浅町	県	同規模	国
千人当たり				
病院数	0.2	0.3	0.2	0.3
診療所数	3.5	3.8	2.2	3.0
病床数	43.1	48.7	33.8	46.8
医師数	8.0	9.9	3.8	9.2
外来患者数	722.1	730.6	682.6	668.3
入院患者数	15.5	18.7	22.4	18.2
受診率	737.6	749.2	705.0	686.5
一件当たり医療費(円)	29,840	33,730	37,680	35,330
一般(円)	29,700	33,700	37,790	35,270
退職(円)	35,240	34,820	34,520	37,860
後期(円)	0	0	0	0
外来				
外来費用の割合	61.7%	60.3%	57.2%	60.1%
外来受診率	722.1	730.6	682.6	668.3
一件当たり医療費(円)	18,790	20,850	22,270	21,820
一人当たり医療費(円)	13,570	15,230	15,200	14,580
一日当たり医療費(円)	12,750	13,330	14,760	13,910
一件当たり受診回数	1.5	1.6	1.5	1.6
入院				
入院費用の割合	38.3%	39.7%	42.8%	39.9%
入院率	15.5	18.7	22.4	18.2
一件当たり医療費(円)	543,080	537,540	506,850	531,780
一人当たり医療費(円)	8,440	10,040	11,370	9,670
一日当たり医療費(円)	41,690	32,860	30,270	34,030
一件当たり在院日数	13.0	16.4	16.7	15.6

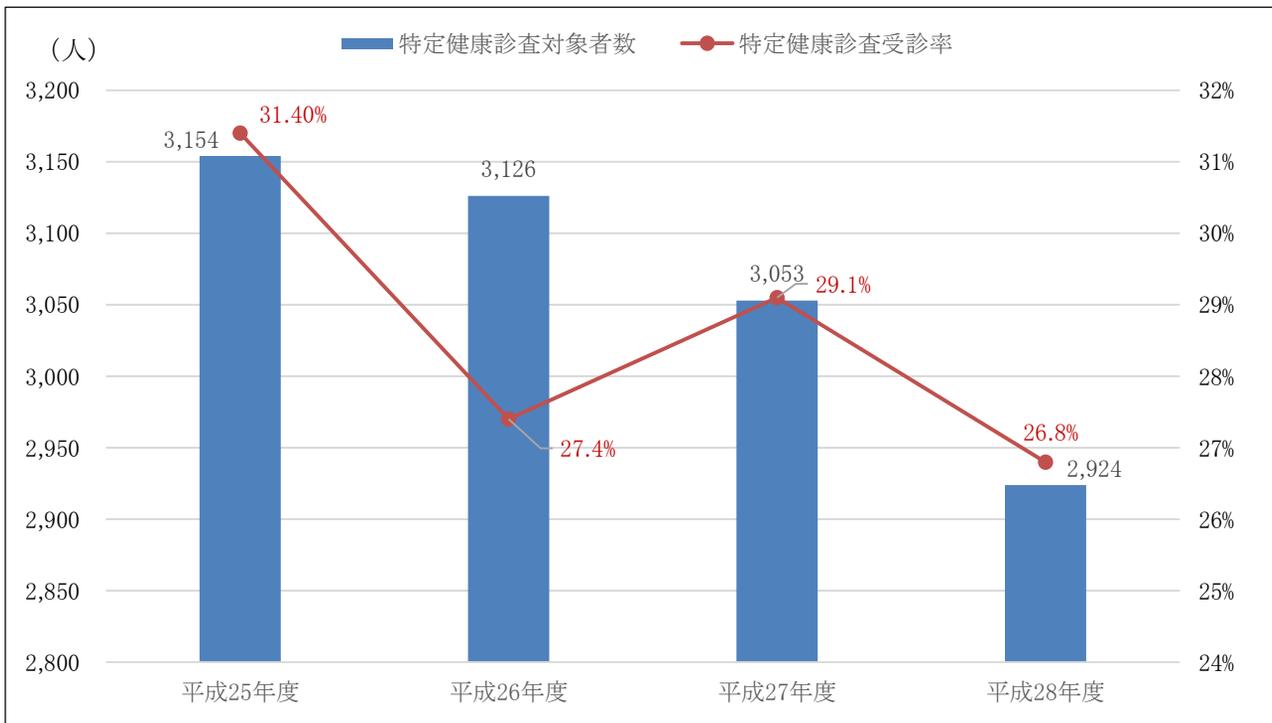
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(3) 特定健康診査受診状況

本町の平成25年度～平成28年度における、特定健康診査の対象者数と平成28年度における男女別年齢階層別受診状況を以下に示す。

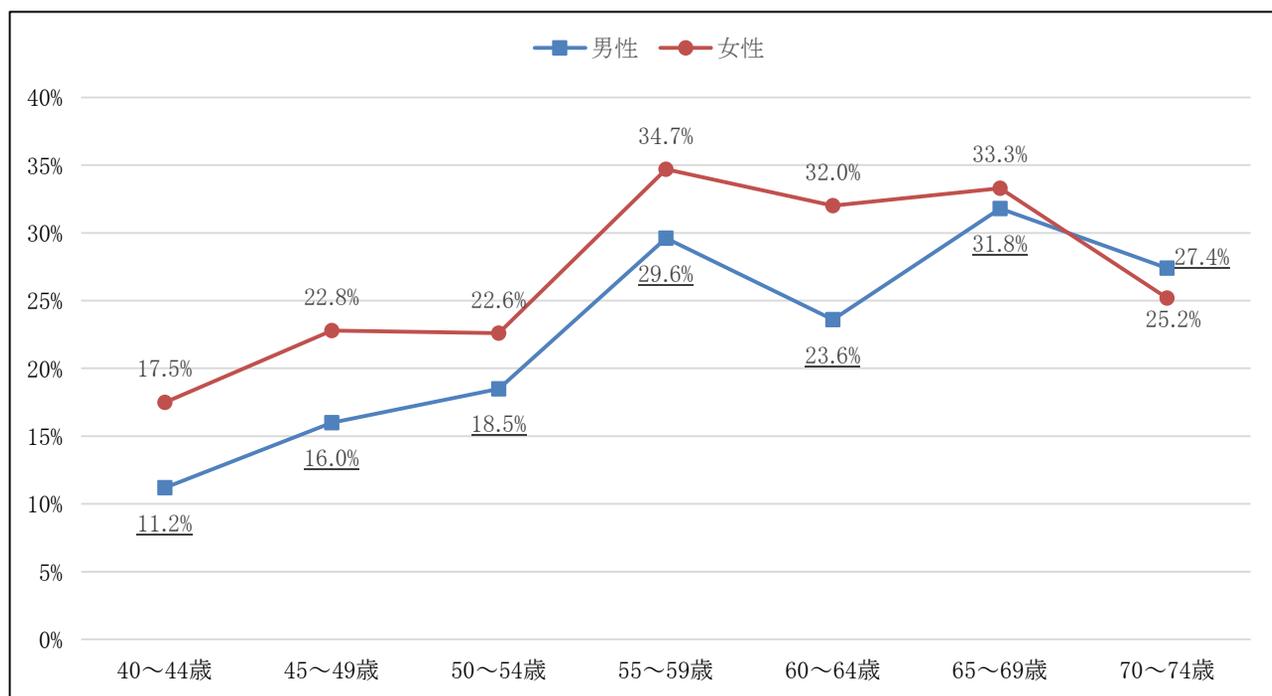
受診率は平成25年度31.4%から平成28年度26.8%まで4.6%減少している。

特定健康診査対象者と受診率の推移



出典: 法定報告

男女別年齢階層別受診状況 (平成28年度)

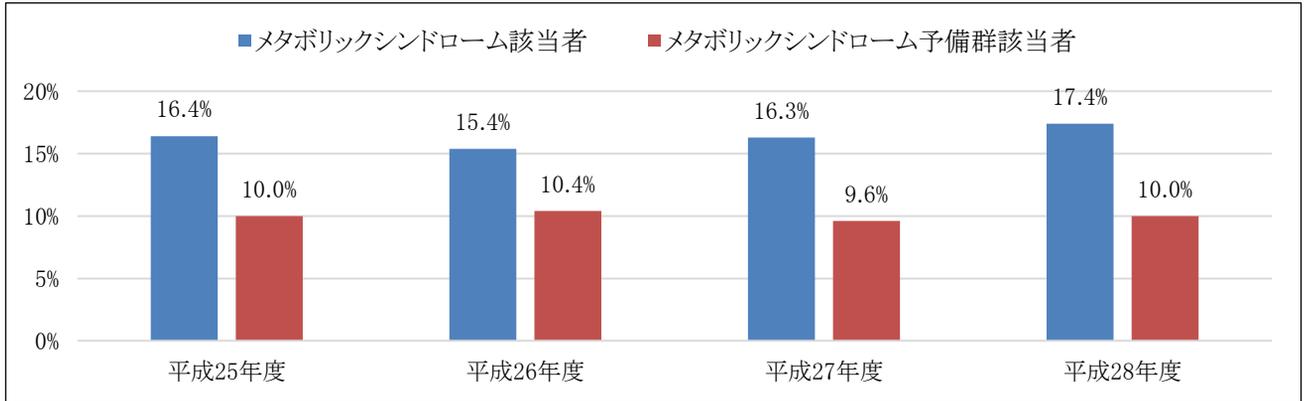


出典: 法定報告

メタボリックシンドローム該当者は平成26年度以降徐々に増加している。

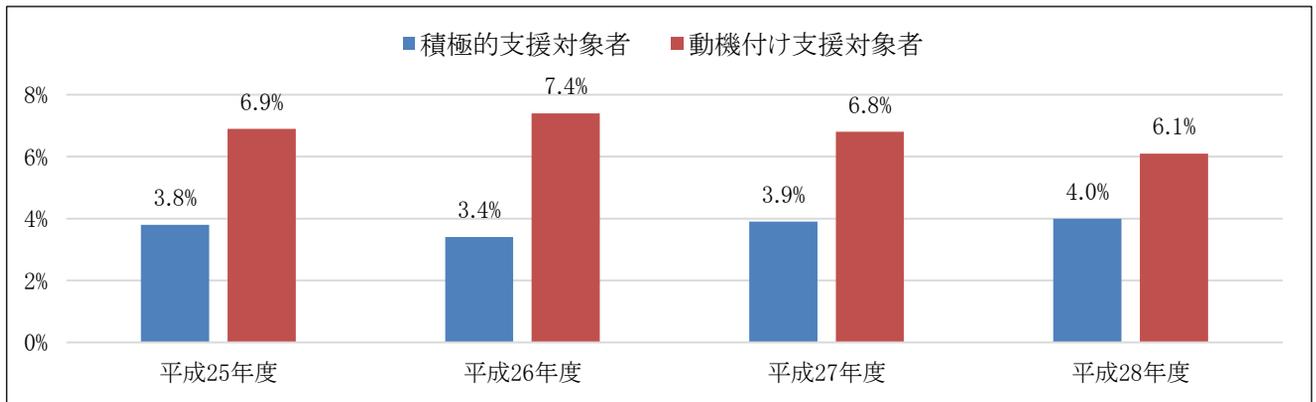
積極的支援の対象者割合は平成26年度以降徐々に増加しているが、動機付け支援の対象者は徐々に減少している。利用率について、積極的支援利用者は年度によるばらつきがあるが、動機付け支援利用者割合は年々減少している。

メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合



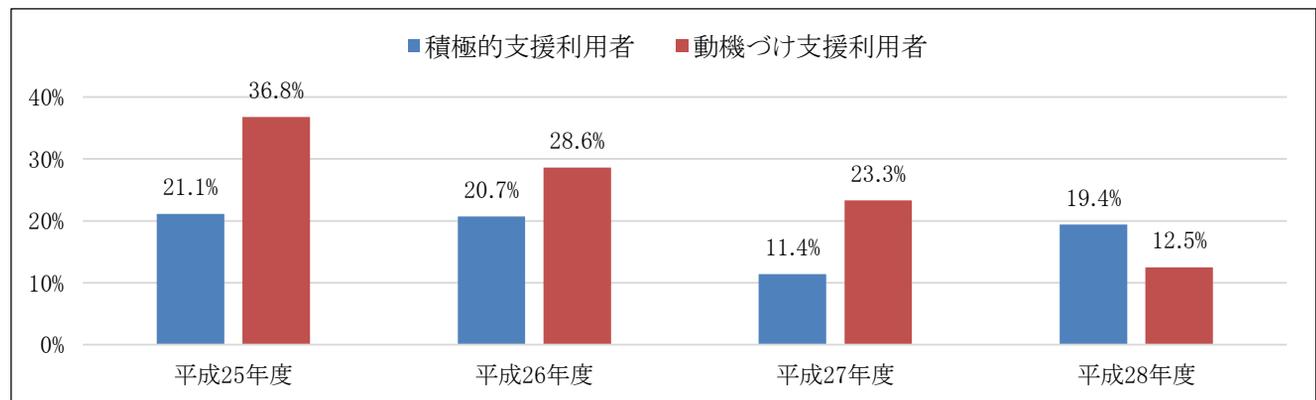
出典: 法定報告

積極的支援・動機付け支援対象者の割合



出典: 法定報告

積極的支援・動機付け支援の利用率



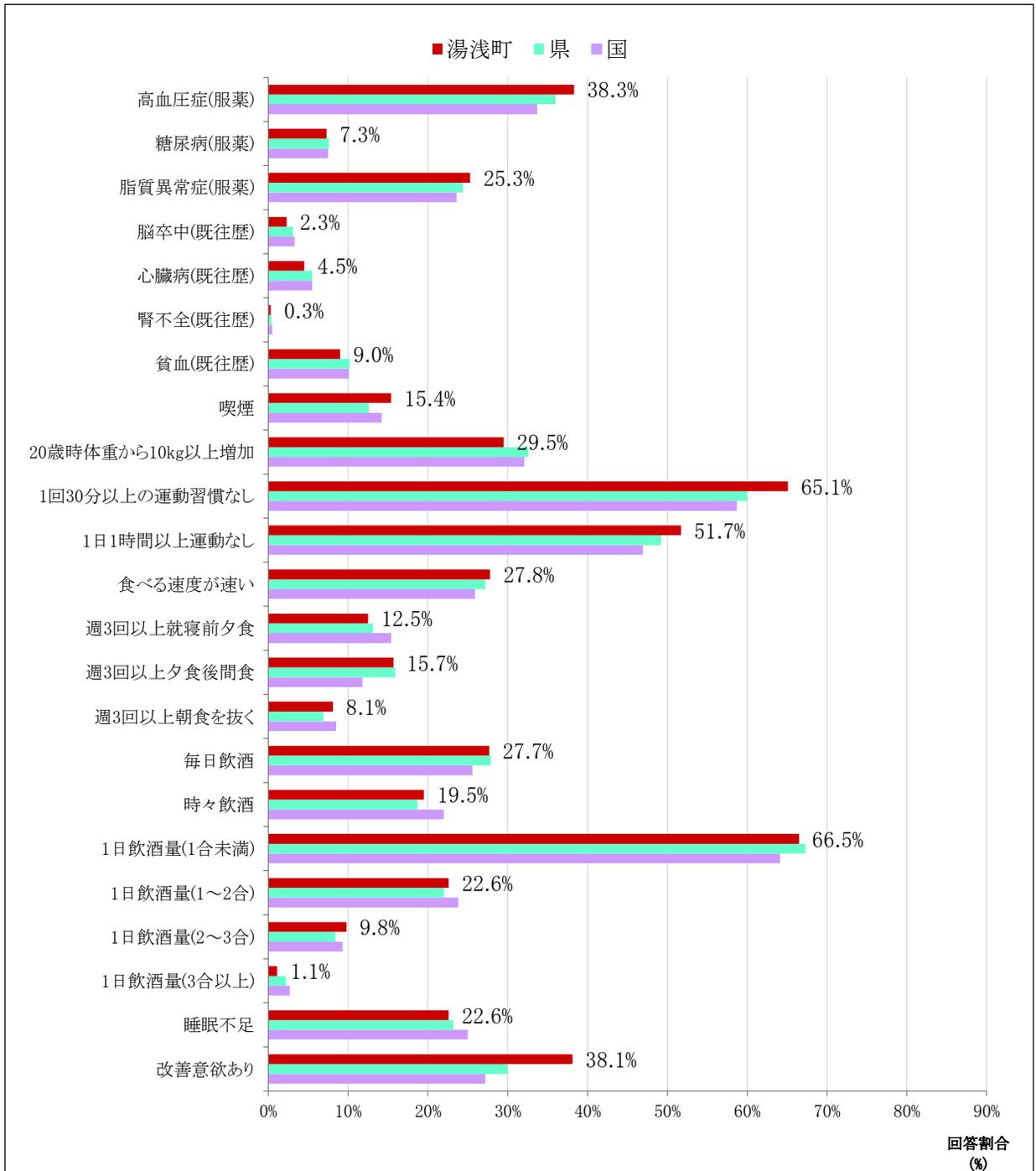
出典: 法定報告

(4) 特定健康診査質問票の状況

本町の平成28年度における、特定健康診査質問票の回答状況を以下に示す。

服薬についての回答状況を見ると「高血圧（服薬）」「脂質異常（服薬）」の回答割合が県、国と比較して高い。その他、「喫煙」「1回30分以上の運動習慣なし」「1日1時間以上運動なし」「食べる速度が速い」「改善意欲あり」の回答割合も県、国と比較して高くなっている。

特定健康診査質問票の回答状況（平成28年度）

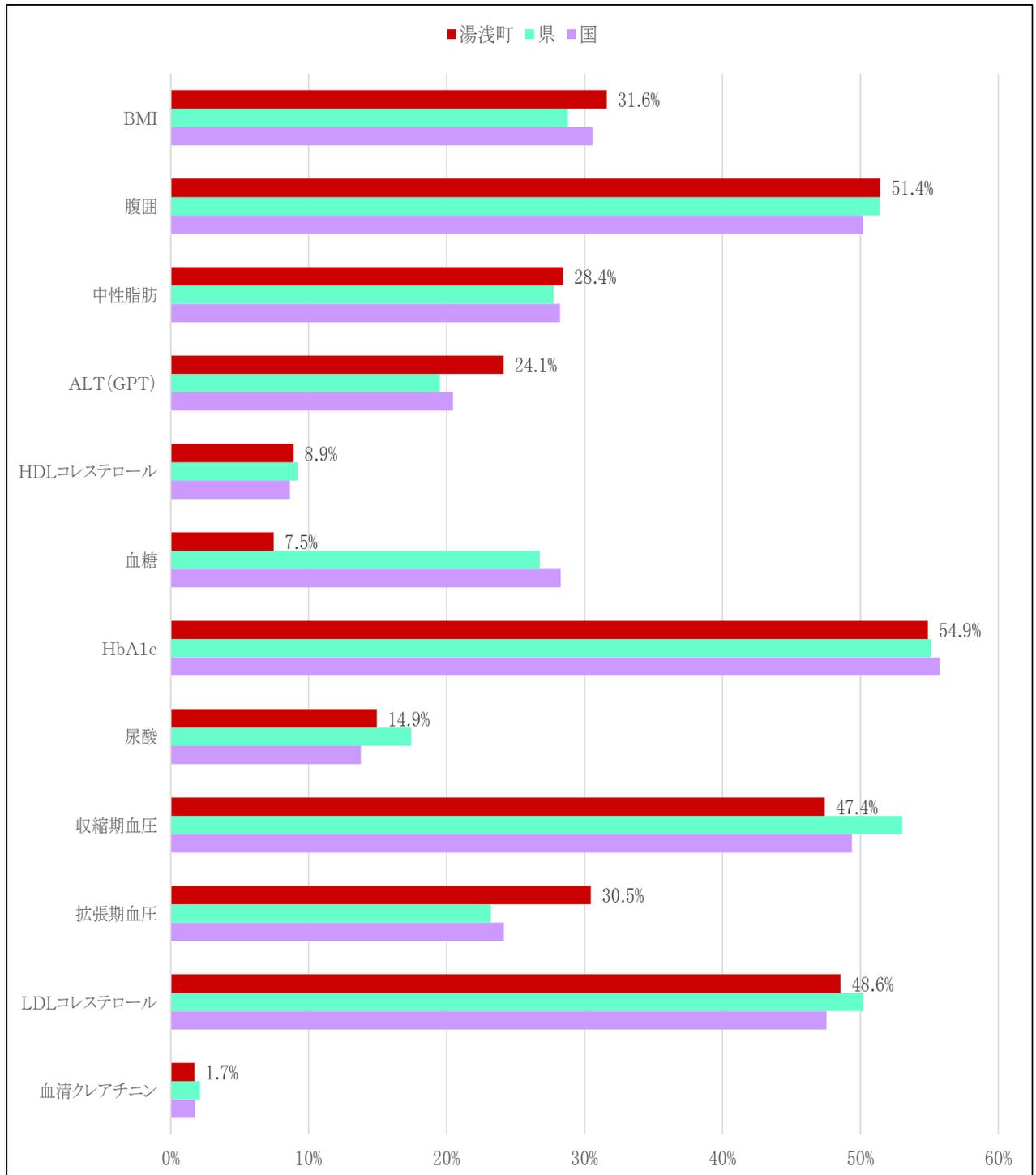


出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」より

(5) 有所見者の状況

本町の平成28年度における、男性の特定健康診査有所見者の状況について以下に示す。
BMI31.6%、腹囲51.4%、ALT24.1%、拡張期血圧30.5%となり県、国と比較して高くなっている。

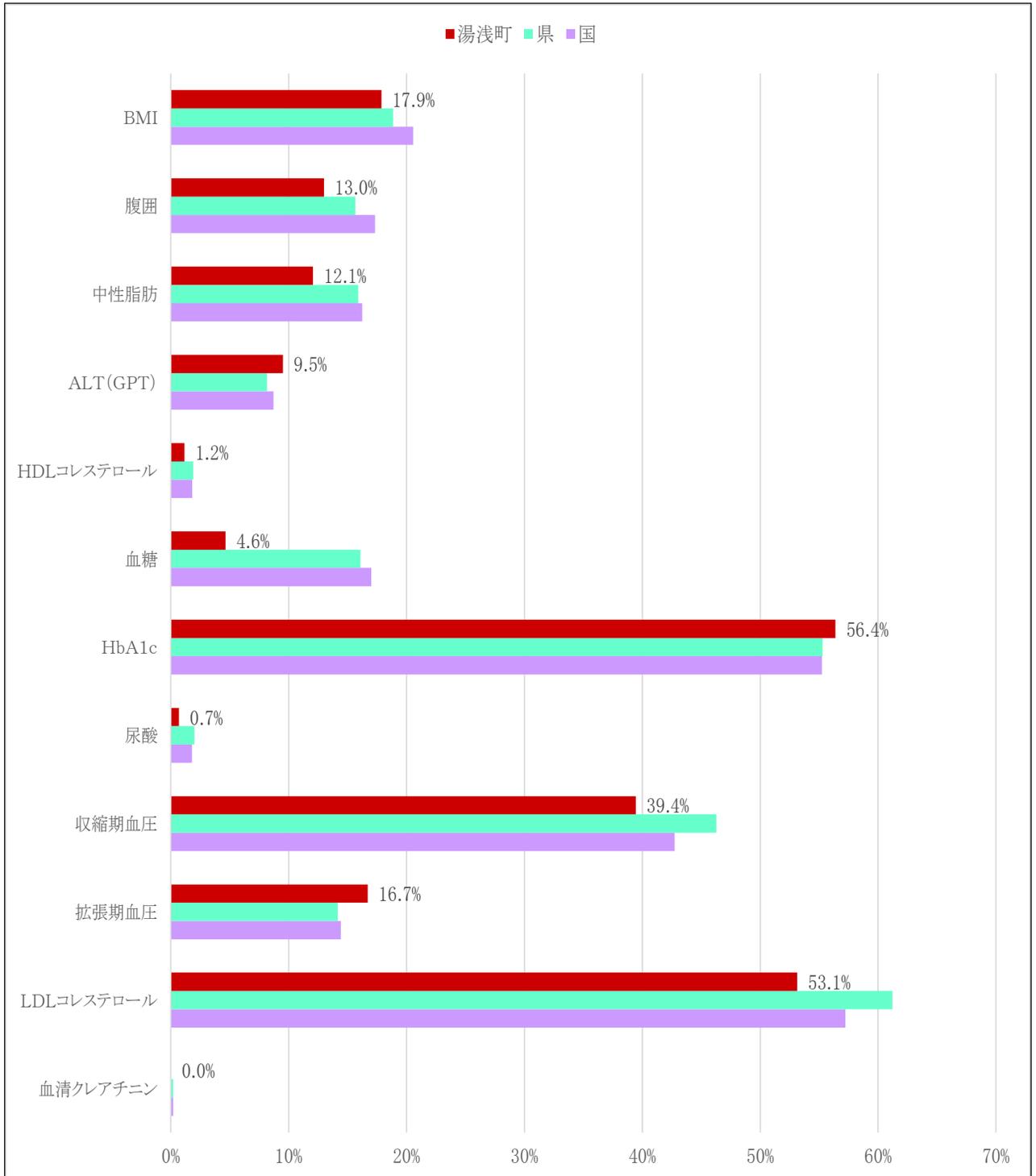
特定健康診査有所見者の状況＜男性＞（平成28年度）



出典：国保データベース（KDB）システム「厚生労働省様式（様式6-2～7）」より

本町の平成28年度における、女性の特定健康診査有所見者の状況について以下に示す。
ALT9.5%、HbA1c56.4%、拡張期血圧16.7%となり県や国と比較して高くなっている。

特定健康診査有所見者の状況＜女性＞（平成28年度）

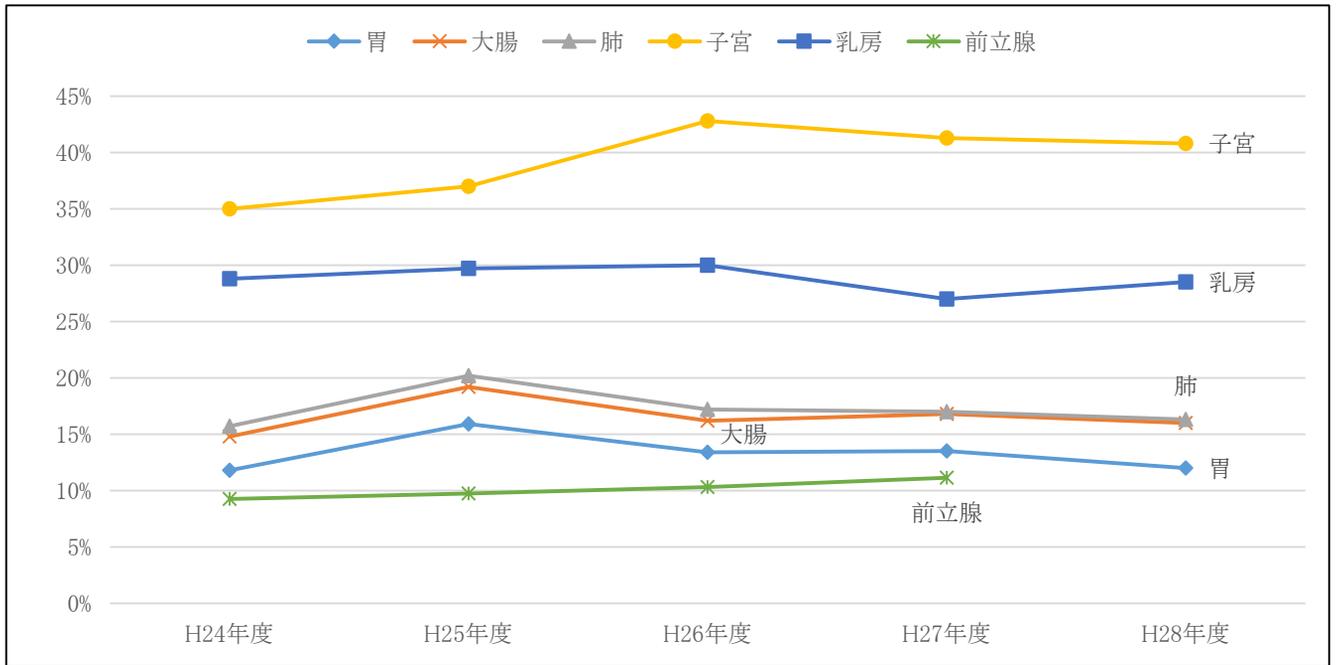


出典：国保データベース（KDB）システム「厚生労働省様式（様式6-2～7）」より

(6) がん検診の状況

本町の平成24年度から平成28年度のがん検診の受診状況を以下に示す。
各がん検診のうち、子宮がん検診の受診率が一番高い。
経年で見ると、どのがん検診もほぼ横ばいとなっている。

がん検診の受診状況（平成28年度）



出典:湯浅町資料より

(7) 介護保険の状況

本町の平成28年度における、認定率及び給付費等の状況を以下に示す。

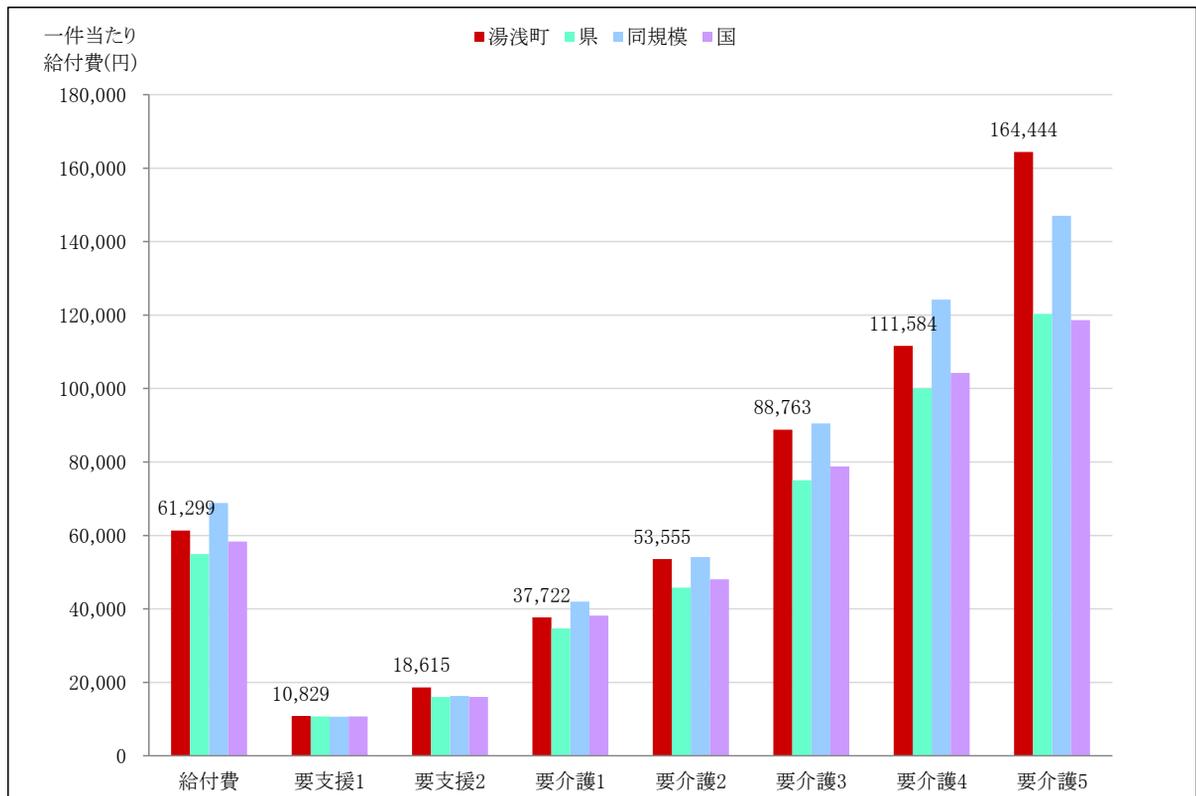
認定数は県と比較して少ないものの、一件当たりの給付費は県よりも高くなっている。

認定率及び給付費等の状況(平成28年度)

区分	湯浅町	県	同規模	国
認定率	20.8%	25.3%	20.2%	21.2%
認定者数(人)	782	69,962	117,315	6,034,085
第1号(65歳以上)	764	68,550	114,823	5,882,340
第2号(40～64歳)	18	1,412	2,492	151,745
一件当たり給付費(円)				
給付費	61,299	54,910	68,805	58,349
要支援1	10,829	10,718	10,678	10,730
要支援2	18,615	16,013	16,299	15,996
要介護1	37,722	34,716	41,951	38,200
要介護2	53,555	45,821	54,121	48,047
要介護3	88,763	75,032	90,510	78,791
要介護4	111,584	100,015	124,214	104,264
要介護5	164,444	120,308	147,066	118,599

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

一件当たり要介護度別給付費(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

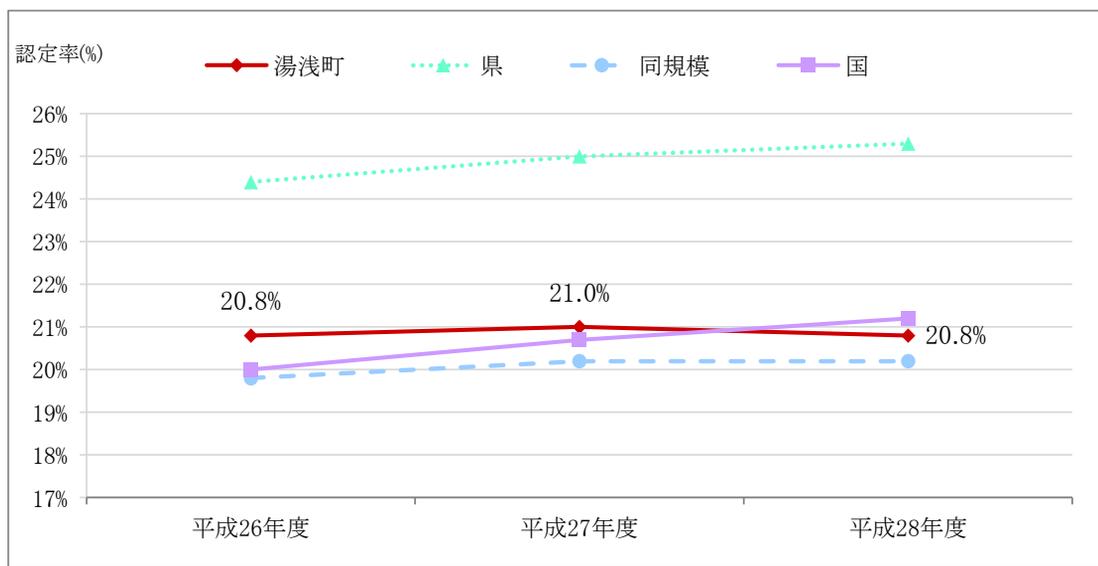
平成26年度から平成28年度における、認定率及び認定者数を年度別に示す。平成28年度認定率20.8%は平成26年度からほぼ横ばいであり、平成28年度の認定者数782人は平成26年度785人より3人減少している。

年度別 認定率及び認定者数

区分		認定率	認定者数(人)		
			第1号 (65歳以上)	第2号 (40歳～64歳)	
湯浅町	平成26年度	20.8%	785	772	13
	平成27年度	21.0%	792	772	20
	平成28年度	20.8%	782	764	18
県	平成26年度	24.4%	67,942	66,469	1,473
	平成27年度	25.0%	69,311	67,878	1,433
	平成28年度	25.3%	69,962	68,550	1,412
同規模	平成26年度	19.8%	106,623	104,130	2,493
	平成27年度	20.2%	111,041	108,537	2,504
	平成28年度	20.2%	117,315	114,823	2,492
国	平成26年度	20.0%	5,324,880	5,178,997	145,883
	平成27年度	20.7%	5,751,982	5,602,383	149,599
	平成28年度	21.2%	6,034,085	5,882,340	151,745

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 認定率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本町の平成28年度における、認定者の疾病別有病率を以下に示す。疾病別の有病者数を合計すると2,453人となり、認定者は平均3.1疾病を有していることがわかる。

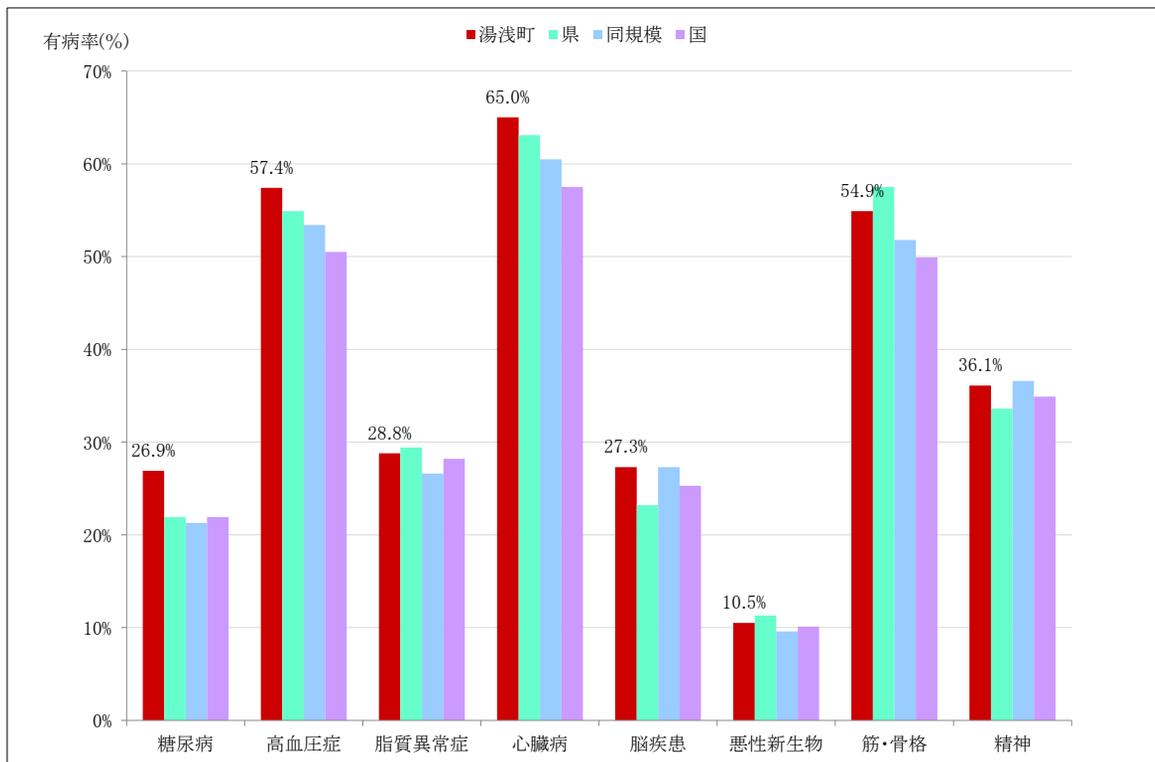
認定者の疾病別有病状況(平成28年度)

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

区分	湯浅町	順位	県	順位	同規模	順位	国	順位
認定者数(人)	782		69,962		117,315		6,034,085	
糖尿病	実人数(人)	211	15,535	7	25,557	7	1,343,240	7
	有病率	26.9%	21.9%		21.3%		21.9%	
高血圧症	実人数(人)	456	38,915	3	63,736	2	3,085,109	2
	有病率	57.4%	54.9%		53.4%		50.5%	
脂質異常症	実人数(人)	238	20,843	5	31,917	6	1,733,323	5
	有病率	28.8%	29.4%		26.6%		28.2%	
心臓病	実人数(人)	509	44,646	1	72,144	1	3,511,354	1
	有病率	65.0%	63.1%		60.5%		57.5%	
脳疾患	実人数(人)	220	16,372	6	32,336	5	1,530,506	6
	有病率	27.3%	23.2%		27.3%		25.3%	
悪性新生物	実人数(人)	86	8,088	8	11,669	8	629,053	8
	有病率	10.5%	11.3%		9.6%		10.1%	
筋・骨格	実人数(人)	438	40,651	2	61,988	3	3,051,816	3
	有病率	54.9%	57.5%		51.8%		49.9%	
精神	実人数(人)	295	23,820	4	44,120	4	2,141,880	4
	有病率	36.1%	33.6%		36.6%		34.9%	

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

認定者の疾病別有病率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(8) 死因の状況

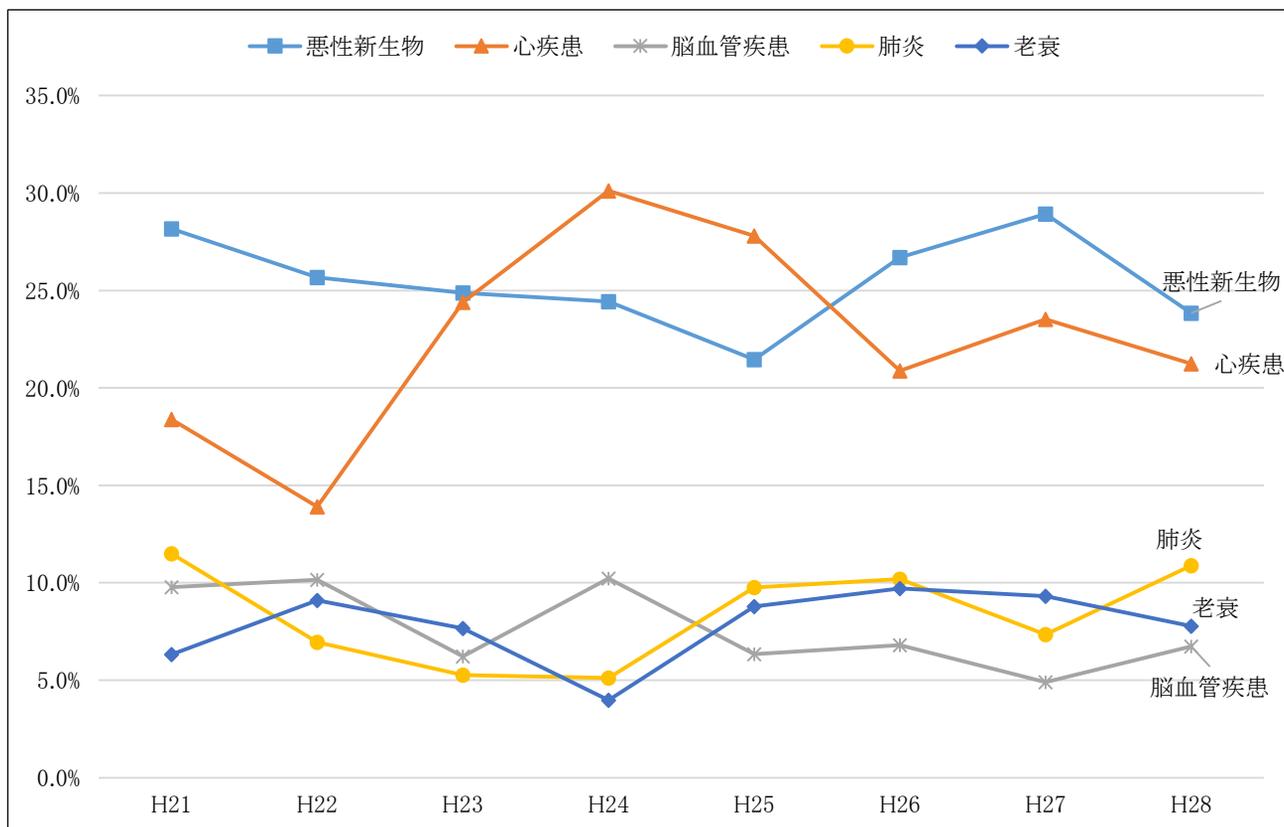
平成28年の死因は、悪性新生物が23.8%で1位になっており、平成21年以降悪性新生物と心疾患が死因の上位を占めている。

主たる死因の死亡数と割合

	H21年		H22年		H23年		H24年		H25年		H26年		H27年		H28年	
	死亡数(人)	割合(%)														
結核	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%	2	1.1%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%	1	0.5%
悪性新生物	49	28.2%	48	25.7%	52	24.9%	43	24.4%	44	21.5%	55	26.7%	59	28.9%	46	23.8%
糖尿病	1	0.6%	3	1.6%	5	2.4%	1	0.6%	1	0.5%	3	1.5%	3	1.5%	3	1.6%
高血圧性疾患	1	0.6%	1	0.5%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%	1	0.5%	4	2.1%
心疾患	32	18.4%	26	13.9%	51	24.4%	53	30.1%	57	27.8%	43	20.9%	48	23.5%	41	21.2%
脳血管疾患	17	9.8%	19	10.2%	13	6.2%	18	10.2%	13	6.3%	14	6.8%	10	4.9%	13	6.7%
大動脈瘤及び解離	-	0.0%	1	0.5%	2	1.0%	-	0.0%	1	0.5%	3	1.5%	-	0.0%	-	0.0%
肺炎	20	11.5%	13	7.0%	11	5.3%	9	5.1%	20	9.8%	21	10.2%	15	7.4%	21	10.9%
慢性閉塞性肺疾患	5	2.9%	5	2.7%	2	1.0%	1	0.6%	1	0.5%	4	1.9%	3	1.5%	1	0.5%
喘息	1	0.6%	-	0.0%	1	0.0%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%	1	0.5%
肝疾患	2	1.1%	1	0.5%	4	1.9%	2	1.1%	5	2.4%	3	1.5%	3	1.5%	2	1.0%
腎不全	2	1.1%	5	2.7%	4	1.9%	5	2.8%	5	2.4%	4	1.9%	1	0.5%	8	4.1%
老衰	11	6.3%	17	9.1%	16	7.7%	7	4.0%	18	8.8%	20	9.7%	19	9.3%	15	7.8%
不慮の事故	2	1.1%	9	4.8%	9	4.3%	1	0.6%	3	1.5%	3	1.5%	5	2.5%	2	1.0%
自殺	5	2.9%	4	2.1%	3	1.4%	3	1.7%	4	2.0%	5	2.4%	2	1.0%	2	1.0%
その他の死因	26	14.9%	35	18.7%	36	17.2%	31	17.6%	33	16.1%	28	13.6%	35	17.2%	33	17.1%
全死因	174	100%	187	100%	209	100%	176	100%	205	100%	206	100%	204	100%	193	100%

出典:和歌山県HP 和歌山県人口動態統計の概況

主たる死因上位5項目の割合



出典:和歌山県HP 和歌山県人口動態統計の概況

2. 医療情報分析結果

(1) 基礎統計

当医療費統計は、湯浅町国民健康保険における、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし分析する。被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は以下の通りである。被保険者数は平均4,411人、レセプト件数は平均4,106件、患者数は平均2,262人となった。また、患者一人当たりの医療費は平均42,903円となった。

基礎統計

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	
A	被保険者数(人)	4,551	4,481	4,489	4,452	4,435	4,433	4,419	
B	レセプト件数(件)	入院外	3,319	3,217	3,257	3,266	3,284	3,158	3,124
		入院	60	67	71	64	79	70	75
		調剤	876	862	861	870	888	833	824
		合計	4,255	4,146	4,189	4,200	4,251	4,061	4,023
C	医療費(円) ※	101,330,690	95,269,360	99,813,430	98,342,870	105,450,980	105,563,270	97,753,800	
D	患者数(人) ※	2,324	2,294	2,290	2,318	2,304	2,256	2,200	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	22,266	21,261	22,235	22,090	23,777	23,813	22,121	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	23,814	22,979	23,828	23,415	24,806	25,994	24,299	
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	43,602	41,530	43,587	42,426	45,769	46,792	44,434	
B/A	受診率(%)	93.5%	92.5%	93.3%	94.3%	95.9%	91.6%	91.0%	
D/A	有病率(%)	51.1%	51.2%	51.0%	52.1%	52.0%	50.9%	49.8%	

		平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	12カ月平均	12カ月合計	
A	被保険者数(人)	4,382	4,361	4,338	4,303	4,283	4,411		
B	レセプト件数(件)	入院外	3,155	3,024	3,048	3,038	3,250	3,178	38,140
		入院	63	54	69	71	81	69	824
		調剤	888	829	842	809	923	859	10,305
		合計	4,106	3,907	3,959	3,918	4,254	4,106	49,269
C	医療費(円) ※	96,957,760	83,288,290	97,688,020	85,623,820	97,552,180	97,052,873	1,164,634,470	
D	患者数(人) ※	2,248	2,180	2,186	2,208	2,338	2,262	27,146	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	22,126	19,098	22,519	19,899	22,777	22,005		
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	23,614	21,318	24,675	21,854	22,932	23,638		
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	43,131	38,206	44,688	38,779	41,725	42,903		
B/A	受診率(%)	93.7%	89.6%	91.3%	91.1%	99.3%	93.1%		
D/A	有病率(%)	51.3%	50.0%	50.4%	51.3%	54.6%	51.3%		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

平成26年度から平成28年度における、入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし年度別に分析する。平成28年度を平成26年度と比較すると、一カ月平均の被保険者数4,411人は、平成26年度4,760人より349人減少しており、医療費11億6,463万円は平成26年度11億8,984万円より2,521万円減少している。また、一カ月平均の患者数2,262人は、平成26年度2,340人より78人減少している。

年度別 基礎統計

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
A	一カ月平均の被保険者数(人)	4,760	4,629	4,411	
B	レセプト件数(件)	入院外	38,892	39,443	38,140
		入院	906	893	824
		調剤	9,597	10,412	10,305
		合計	49,395	50,748	49,269
C	医療費(円) ※	1,189,841,630	1,256,552,100	1,164,634,470	
D	一カ月平均の患者数(人) ※	2,340	2,349	2,262	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	249,962	271,457	264,055	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	24,088	24,761	23,638	
D/A	有病率(%)	49.2%	50.7%	51.3%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※一カ月平均の患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は一人とし、年度毎に集計。そのため他統計とは一致しない。

年度別 医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

(2) 高額レセプトの件数及び医療費

① 高額レセプトの件数及び割合

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下の通り集計した。高額レセプトは366件発生しており、レセプト件数全体の0.7%を占める。高額レセプトの医療費は3億7,477万円となり、医療費全体の32.2%を占める。

高額レセプトの件数及び医療費

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月
A	レセプト件数(件)	4,255	4,146	4,189	4,200	4,251	4,061	4,023
B	高額レセプト件数(件)	30	29	32	35	31	39	29
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.7%	0.7%	0.8%	0.8%	0.7%	1.0%	0.7%
C	医療費(円) ※	101,330,690	95,269,360	99,813,430	98,342,870	105,450,980	105,563,270	97,753,800
D	高額レセプトの医療費(円) ※	33,916,980	27,882,720	33,046,000	32,282,240	37,037,020	39,988,390	33,031,640
E	その他レセプトの医療費(円) ※	67,413,710	67,386,640	66,767,430	66,060,630	68,413,960	65,574,880	64,722,160
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	33.5%	29.3%	33.1%	32.8%	35.1%	37.9%	33.8%

		平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	12カ月平均	12カ月合計
A	レセプト件数(件)	4,106	3,907	3,959	3,918	4,254	4,106	49,269
B	高額レセプト件数(件)	26	25	33	28	29	31	366
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.6%	0.6%	0.8%	0.7%	0.7%	0.7%	
C	医療費(円) ※	96,957,760	83,288,290	97,688,020	85,623,820	97,552,180	97,052,873	1,164,634,470
D	高額レセプトの医療費(円) ※	30,434,120	22,582,830	34,894,160	23,322,620	26,349,800	31,230,710	374,768,520
E	その他レセプトの医療費(円) ※	66,523,640	60,705,460	62,793,860	62,301,200	71,202,380	65,822,163	789,865,950
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	31.4%	27.1%	35.7%	27.2%	27.0%	32.2%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

平成26年度から平成28年度に発生している高額レセプトの集計結果を年度別に示す。平成28年度高額レセプト件数366件は平成26年度360件より6件増加しており、平成28年度高額レセプトの医療費3億7,477万円は平成26年度3億6,290万円より1,187万円増加している。

年度別 高額レセプトの件数及び医療費

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
A	レセプト件数(件)	49,395	50,748	49,269
B	高額レセプト件数(件)	360	399	366
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.7%	0.8%	0.7%
C	医療費(円) ※	1,189,841,630	1,256,552,100	1,164,634,470
D	高額レセプトの医療費(円) ※	362,896,050	413,925,290	374,768,520
E	その他レセプトの医療費(円) ※	826,945,580	842,626,810	789,865,950
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	30.5%	32.9%	32.2%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

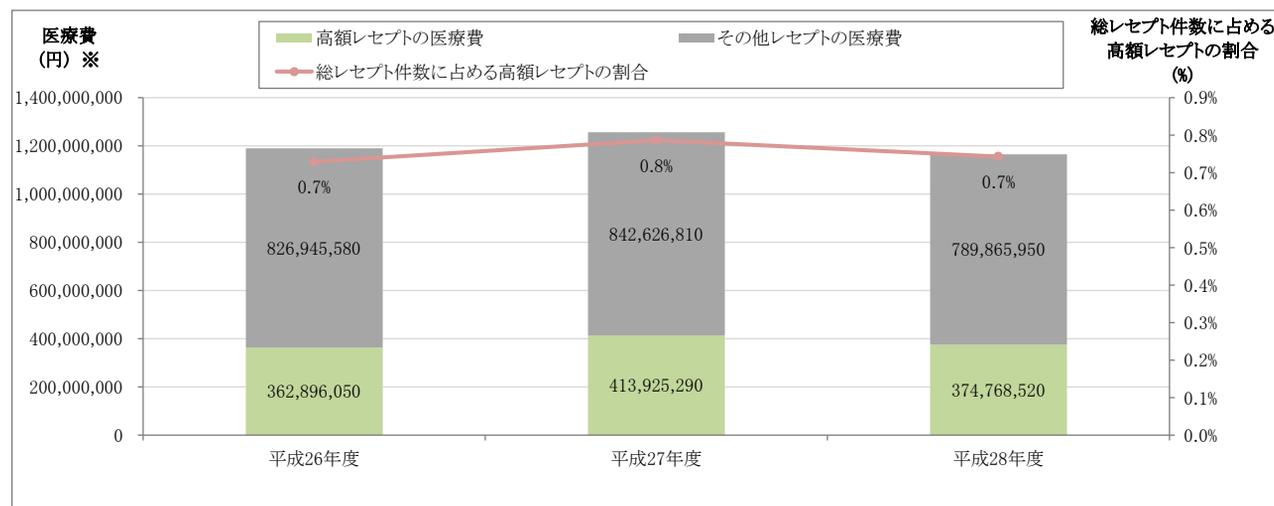
資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

年度別 高額レセプトの医療費及び件数割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

②高額レセプト発生患者の疾病傾向

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、高額レセプト発生患者の疾病傾向を示す。高額レセプト発生患者の分析対象期間の全レセプトを医療費分解後、最も医療費がかかっている疾病を主要傷病名と定義し、対象者の全医療費を集計した。患者一人当たりの医療費が高額な疾病は、「脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群」「白血病」「その他の神経系の疾患」等となった。

高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者一人当たりの 医療費(円) ※
1	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺	8,556,020
2	0209 白血病	骨髄増殖性疾患	7,976,110
3	0606 その他の神経系の疾患	ギラン・バレー症候群	6,580,280
4	0908 その他の脳血管疾患	もやもや病	6,468,980
5	0208 悪性リンパ腫	脳悪性リンパ腫, びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫, 悪性リンパ腫	5,582,807
6	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	廃用症候群, 全身性強皮症	5,394,385
7	0905 脳内出血	脳皮質下出血, 被殻出血	4,781,735
8	0109 その他の感染症及び寄生虫症	敗血症性ショック	4,396,280
9	1402 腎不全	慢性腎不全, 腎不全	4,246,878
10	0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	発熱性好中球減少症	4,226,960
11	0912 その他の循環器系の疾患	胸部大動脈瘤, 食道静脈瘤破裂, 腹部大動脈瘤	4,033,860
12	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	膀胱癌, 前立腺癌, 腎癌	3,728,315
13	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	半月板損傷, 人工弁感染, 頸髄損傷	3,726,330
14	1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	硬膜下血腫, 急性硬膜外血腫・頭蓋内に達する開放創合併なし, 脳挫傷・頭蓋内に達する開放創合併なし	3,722,620
15	0105 ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎	3,636,024
16	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	小細胞肺癌, 肺癌, 下葉肺癌	3,514,459
17	0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	肝細胞癌, 肝内胆管癌	3,318,267
18	0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	胃癌	3,187,195
19	1302 関節症	変形性股関節症, 一側性続発性股関節症, 急速破壊型股関節症	3,161,092
20	1011 その他の呼吸器系の疾患	誤嚥性肺炎, 慢性呼吸不全急性増悪, 自然気胸	2,951,858

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成26年度から平成28年度における、患者一人当たりの医療費上位5疾病を年度別に示す。

年度別 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者一人当たりの医療費 (円) ※
平成26年度	1	0208 悪性リンパ腫	マンツル細胞リンパ腫, 脳悪性リンパ腫	8,031,245
	2	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺	7,929,330
	3	0908 その他の脳血管疾患	硬膜動静脈瘻, 脳底動脈狭窄症	6,596,680
	4	1402 腎不全	慢性腎不全	5,675,638
	5	0912 その他の循環器系の疾患	胸部大動脈瘤, 急性大動脈解離StanfordA, 脊髄動静脈瘻	5,410,383
平成27年度	1	0109 その他の感染症及び寄生虫症	黄色ぶどう球菌敗血症	8,940,650
	2	1402 腎不全	慢性腎不全	6,678,052
	3	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	6,339,130
	4	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺	6,318,245
	5	0105 ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎	5,733,034
平成28年度	1	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺	8,556,020
	2	0209 白血病	骨髄増殖性疾患	7,976,110
	3	0606 その他の神経系の疾患	ギラン・バレー症候群	6,580,280
	4	0908 その他の脳血管疾患	もやもや病	6,468,980
	5	0208 悪性リンパ腫	脳悪性リンパ腫, びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫, 悪性リンパ腫	5,582,807

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

(3) 疾病別医療費

①大分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費、レセプト件数、患者数を算出した。「循環器系の疾患」が医療費合計の16.3%、「新生物<腫瘍>」は医療費合計の15.2%と高い割合を占めている。

大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	54,913,718	4.7%	9	4,310	9	1,347	7	40,767	13
II. 新生物<腫瘍>	177,137,546	15.2%	2	4,030	12	1,147	9	154,436	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	10,954,777	0.9%	15	1,285	16	322	16	34,021	15
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	99,710,159	8.6%	4	13,602	2	1,653	4	60,321	9
V. 精神及び行動の障害	57,780,258	5.0%	8	4,237	10	418	15	138,230	2
VI. 神経系の疾患	49,243,470	4.2%	12	7,766	6	886	11	55,580	11
VII. 眼及び付属器の疾患	50,013,687	4.3%	11	4,897	8	1,362	6	36,721	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	7,767,906	0.7%	16	1,769	15	517	14	15,025	18
IX. 循環器系の疾患	189,563,188	16.3%	1	17,004	1	1,669	3	113,579	4
X. 呼吸器系の疾患	73,493,592	6.3%	6	9,801	5	2,254	1	32,606	16
X I. 消化器系の疾患 ※	86,883,470	7.5%	5	12,270	3	1,890	2	45,970	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	26,404,625	2.3%	13	5,157	7	1,283	8	20,580	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	127,283,785	11.0%	3	10,906	4	1,586	5	80,255	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	73,174,708	6.3%	7	4,040	11	872	12	83,916	5
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	2,145,456	0.2%	20	69	19	30	19	71,515	7
X VI. 周産期に発生した病態 ※	2,465,521	0.2%	19	37	21	18	21	136,973	3
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	4,481,863	0.4%	17	212	18	79	18	56,732	10
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	13,027,338	1.1%	14	3,549	13	963	10	13,528	20
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	52,979,282	4.6%	10	2,261	14	871	13	60,826	8
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,769,301	0.2%	18	1,184	17	189	17	14,652	19
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	138,130	0.0%	21	47	20	22	20	6,279	21
合計	1,162,331,780			48,856		3,928		295,909	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

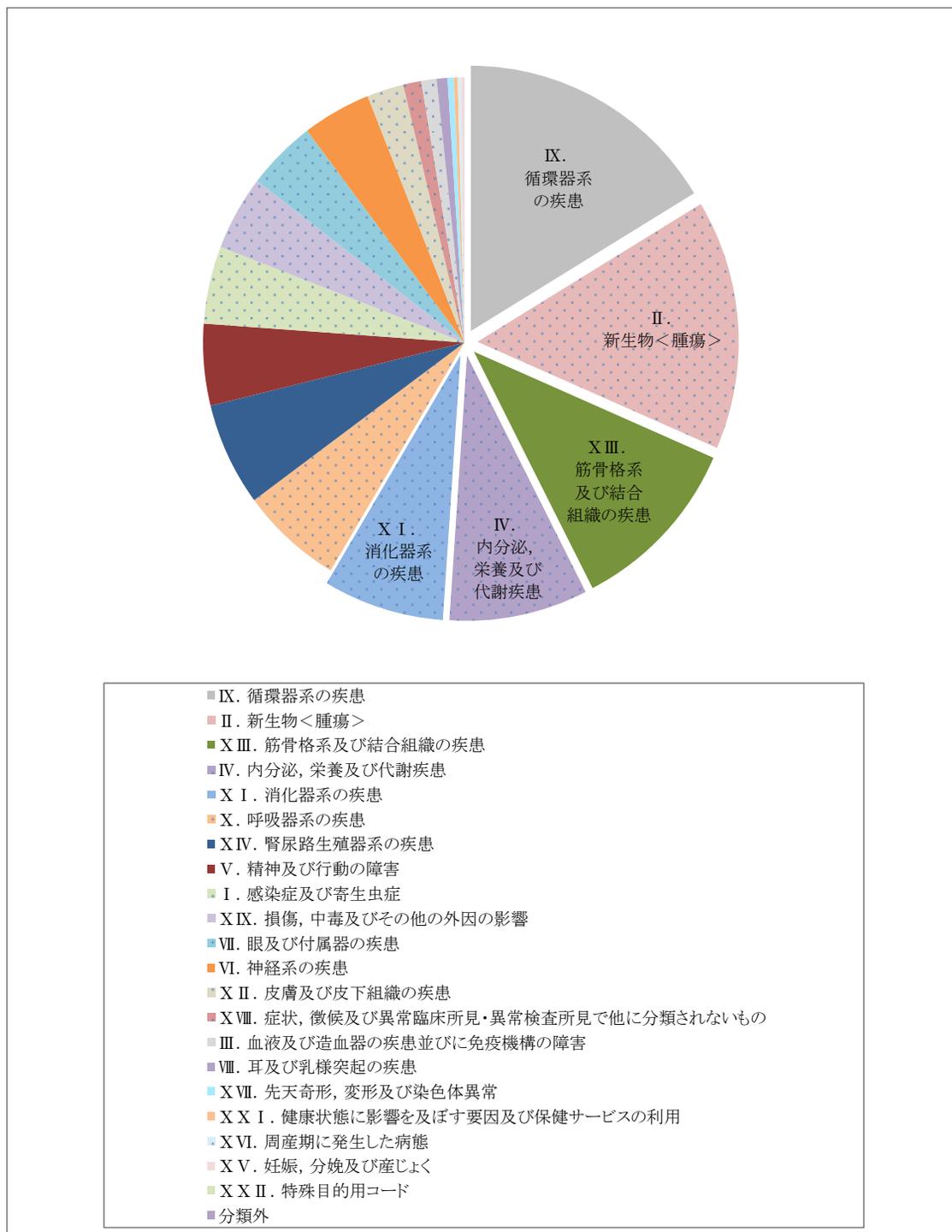
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

疾病項目別医療費割合は、「循環器系の疾患」「新生物<腫瘍>」「筋骨格系及び結合組織の疾患」「内分泌、栄養及び代謝疾患」「消化器系の疾患」の医療費で高い割合を占める。

疾病項目別医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
 資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。
 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
 消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

平成26年度から平成28年度に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費を算出し年度別に示す。

年度別 大分類による疾病別医療費統計 ※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	平成26年度			平成27年度			平成28年度		
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	38,104,308	3.2%	12	76,026,766	6.1%	8	54,913,718	4.7%	9
II. 新生物<腫瘍>	173,026,932	14.6%	2	165,251,256	13.2%	2	177,137,546	15.2%	2
III. 血液及び血管の疾患並びに免疫機構の障害	7,874,800	0.7%	16	6,230,591	0.5%	17	10,954,777	0.9%	15
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	96,586,379	8.1%	5	100,718,568	8.0%	5	99,710,159	8.6%	4
V. 精神及び行動の障害	81,184,018	6.8%	7	69,989,199	5.6%	9	57,780,258	5.0%	8
VI. 神経系の疾患	49,999,688	4.2%	10	56,042,293	4.5%	10	49,243,470	4.2%	12
VII. 眼及び付属器の疾患	45,251,121	3.8%	11	47,210,325	3.8%	11	50,013,687	4.3%	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	10,585,455	0.9%	15	9,186,360	0.7%	16	7,767,906	0.7%	16
IX. 循環器系の疾患	197,461,007	16.7%	1	204,752,209	16.3%	1	189,563,188	16.3%	1
X. 呼吸器系の疾患	68,184,369	5.8%	8	83,391,474	6.7%	7	73,493,592	6.3%	6
X I. 消化器系の疾患 ※	92,474,089	7.8%	6	94,501,632	7.5%	6	86,883,470	7.5%	5
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	24,310,175	2.1%	13	27,622,829	2.2%	13	26,404,625	2.3%	13
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	111,386,615	9.4%	3	116,103,760	9.3%	3	127,283,785	11.0%	3
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	107,597,839	9.1%	4	111,522,461	8.9%	4	73,174,708	6.3%	7
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	7,123,201	0.6%	17	3,219,022	0.3%	19	2,145,456	0.2%	20
X VI. 周産期に発生した病態 ※	1,267,203	0.1%	20	10,129,722	0.8%	15	2,465,521	0.2%	19
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	2,552,701	0.2%	19	777,166	0.1%	20	4,481,863	0.4%	17
X VIII. 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	13,734,095	1.2%	14	18,733,087	1.5%	14	13,027,338	1.1%	14
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	52,677,626	4.4%	9	46,933,344	3.7%	12	52,979,282	4.6%	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	4,172,034	0.4%	18	4,544,190	0.4%	18	2,769,301	0.2%	18
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
分類外	96,675	0.0%	21	218,396	0.0%	21	138,130	0.0%	21
合計	1,185,650,330			1,253,104,650			1,162,331,780		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

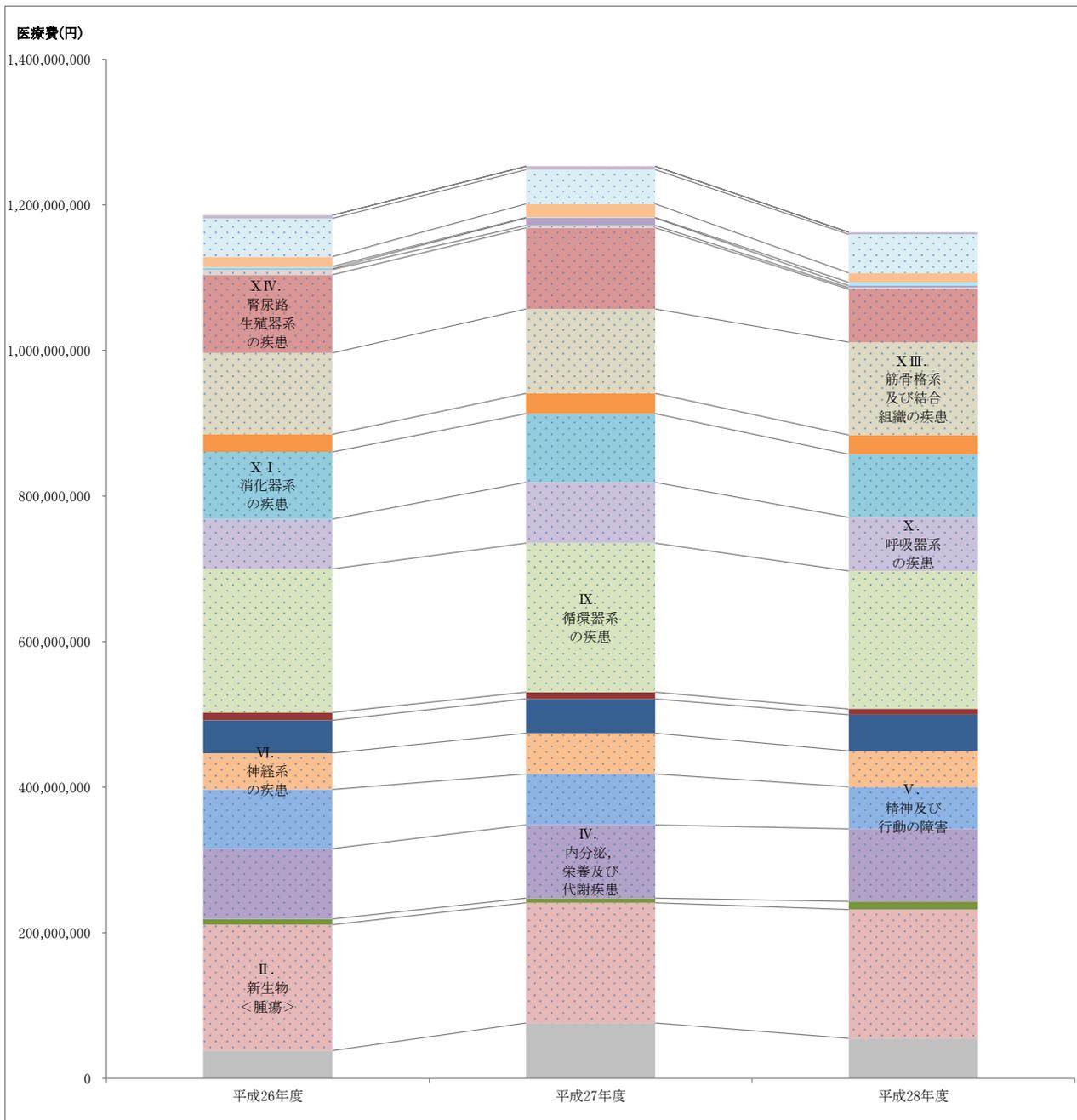
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

年度・疾病項目別医療費統計



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

②中分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、各項目の上位10疾病を示す。

中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	76,139,420	6.6%	484
2	0901 高血圧性疾患	71,240,758	6.1%	1,315
3	0402 糖尿病	53,941,821	4.6%	977
4	1402 腎不全	45,755,124	3.9%	107
5	1113 その他の消化器系の疾患	40,093,786	3.4%	1,123
6	0105 ウイルス性肝炎	35,049,680	3.0%	198
7	1302 関節症	33,756,226	2.9%	406
8	0903 その他の心疾患	33,721,729	2.9%	524
9	0902 虚血性心疾患	31,679,245	2.7%	420
10	0403 脂質異常症	30,599,977	2.6%	840

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	71,240,758	1,315	33.5%
2	1113 その他の消化器系の疾患	40,093,786	1,123	28.6%
3	0703 屈折及び調節の障害	7,125,658	1,097	27.9%
4	1006 アレルギー性鼻炎	9,633,731	1,040	26.5%
5	1002 急性咽頭炎及び急性扁桃炎	7,071,132	1,025	26.1%
6	1202 皮膚炎及び湿疹	13,171,765	988	25.2%
7	1105 胃炎及び十二指腸炎	14,617,338	979	24.9%
8	0402 糖尿病	53,941,821	977	24.9%
9	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	13,027,338	963	24.5%
10	1003 その他の急性上気道感染症	7,417,564	847	21.6%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	0209 白血病	3,869,651	2	1,934,826
2	0208 悪性リンパ腫	12,788,439	19	673,076
3	1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	7,253,768	16	453,361
4	1402 腎不全	45,755,124	107	427,618
5	0507 その他の精神及び行動の障害	9,030,391	25	361,216
6	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	8,176,433	23	355,497
7	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	3,713,520	12	309,460
8	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	27,249,063	117	232,898
9	0105 ウイルス性肝炎	35,049,680	198	177,019
10	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	9,283,296	53	175,157

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

平成26年度から平成28年度に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人) ※
平成26年度	1	0901 高血圧性疾患	77,518,872	6.5%	1,314
	2	1402 腎不全	69,977,169	5.9%	114
	3	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	53,869,396	4.5%	524
	4	0402 糖尿病	49,872,496	4.2%	952
	5	1113 その他の消化器系の疾患	46,492,654	3.9%	1,081
	6	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	42,750,726	3.6%	127
	7	1302 関節症	36,644,826	3.1%	409
	8	0403 脂質異常症	31,644,213	2.7%	808
	9	0902 虚血性心疾患	29,678,271	2.5%	457
	10	0912 その他の循環器系の疾患	29,434,429	2.5%	130
平成27年度	1	1402 腎不全	77,793,124	6.2%	113
	2	0901 高血圧性疾患	77,531,566	6.2%	1,329
	3	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	69,367,908	5.5%	541
	4	0105 ウイルス性肝炎	54,292,702	4.3%	199
	5	0402 糖尿病	53,207,887	4.2%	994
	6	0903 その他の心疾患	48,470,052	3.9%	557
	7	1113 その他の消化器系の疾患	47,005,684	3.8%	1,118
	8	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	35,832,758	2.9%	132
	9	0902 虚血性心疾患	33,209,592	2.7%	445
	10	0403 脂質異常症	32,763,140	2.6%	821
平成28年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	76,139,420	6.6%	484
	2	0901 高血圧性疾患	71,240,758	6.1%	1,315
	3	0402 糖尿病	53,941,821	4.6%	977
	4	1402 腎不全	45,755,124	3.9%	107
	5	1113 その他の消化器系の疾患	40,093,786	3.4%	1,123
	6	0105 ウイルス性肝炎	35,049,680	3.0%	198
	7	1302 関節症	33,756,226	2.9%	406
	8	0903 その他の心疾患	33,721,729	2.9%	524
	9	0902 虚血性心疾患	31,679,245	2.7%	420
	10	0403 脂質異常症	30,599,977	2.6%	840

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

患者数上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
平成26年度	1	0901 高血圧性疾患	77,518,872	1,314	32.0%
	2	0703 屈折及び調節の障害	6,384,109	1,111	27.0%
	3	1113 その他の消化器系の疾患	46,492,654	1,081	26.3%
	4	1002 急性咽頭炎及び急性扁桃炎	6,956,707	1,028	25.0%
	5	1006 アレルギー性鼻炎	10,729,464	1,009	24.6%
	6	1202 皮膚炎及び湿疹	12,011,186	966	23.5%
	7	0402 糖尿病	49,872,496	952	23.2%
	8	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	13,734,095	941	22.9%
	9	1105 胃炎及び十二指腸炎	15,168,940	936	22.8%
	10	1003 その他の急性上気道感染症	7,324,819	822	20.0%
平成27年度	1	0901 高血圧性疾患	77,531,566	1,329	32.4%
	2	0703 屈折及び調節の障害	8,347,687	1,152	28.1%
	3	1113 その他の消化器系の疾患	47,005,684	1,118	27.2%
	4	1006 アレルギー性鼻炎	11,695,149	1,084	26.4%
	5	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	18,733,087	1,020	24.9%
	6	1202 皮膚炎及び湿疹	14,300,647	1,014	24.7%
	7	1002 急性咽頭炎及び急性扁桃炎	6,965,575	1,012	24.7%
	8	0402 糖尿病	53,207,887	994	24.2%
	9	1105 胃炎及び十二指腸炎	15,140,646	984	24.0%
	10	1003 その他の急性上気道感染症	7,264,027	860	21.0%
平成28年度	1	0901 高血圧性疾患	71,240,758	1,315	33.5%
	2	1113 その他の消化器系の疾患	40,093,786	1,123	28.6%
	3	0703 屈折及び調節の障害	7,125,658	1,097	27.9%
	4	1006 アレルギー性鼻炎	9,633,731	1,040	26.5%
	5	1002 急性咽頭炎及び急性扁桃炎	7,071,132	1,025	26.1%
	6	1202 皮膚炎及び湿疹	13,171,765	988	25.2%
	7	1105 胃炎及び十二指腸炎	14,617,338	979	24.9%
	8	0402 糖尿病	53,941,821	977	24.9%
	9	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	13,027,338	963	24.5%
	10	1003 その他の急性上気道感染症	7,417,564	847	21.6%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

患者一人当たりの医療費上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	患者一人当たりの医療費(円)
平成26年度	1	0209 白血病	1,016,881
	2	1402 腎不全	613,835
	3	0208 悪性リンパ腫	561,795
	4	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	493,517
	5	1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	391,455
	6	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	336,620
	7	0507 その他の精神及び行動の障害	297,295
	8	0912 その他の循環器系の疾患	226,419
	9	0908 その他の脳血管疾患	186,464
	10	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	175,071
平成27年度	1	0209 白血病	982,979
	2	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	711,411
	3	1402 腎不全	688,435
	4	0208 悪性リンパ腫	456,434
	5	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	399,280
	6	1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	364,976
	7	0507 その他の精神及び行動の障害	357,002
	8	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	347,245
	9	0105 ウイルス性肝炎	272,828
	10	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	271,460
平成28年度	1	0209 白血病	1,934,826
	2	0208 悪性リンパ腫	673,076
	3	1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	453,361
	4	1402 腎不全	427,618
	5	0507 その他の精神及び行動の障害	361,216
	6	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	355,497
	7	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	309,460
	8	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	232,898
	9	0105 ウイルス性肝炎	177,019
	10	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	175,157

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別医療費統計(全項目)

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)		レセプト件数 ※		患者数 ※	
	1,162,331,780		48,856		3,928	

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	54,913,718	4.7%		4,310	8.8%		1,347	34.3%		40,767	
0101 腸管感染症	3,130,360	0.3%	74	839	1.7%	47	460	11.7%	26	6,805	105
0102 結核	541,132	0.0%	101	138	0.3%	91	50	1.3%	87	10,823	95
0103 主として性的伝播様式をとる感染症	280,937	0.0%	107	135	0.3%	92	83	2.1%	79	3,385	119
0104 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	2,528,798	0.2%	81	489	1.0%	64	187	4.8%	52	13,523	90
0105 ウイルス性肝炎	35,049,680	3.0%	6	876	1.8%	46	198	5.0%	50	177,019	9
0106 その他のウイルス性疾患	2,641,120	0.2%	79	188	0.4%	85	109	2.8%	70	24,230	61
0107 真菌症	5,277,981	0.5%	57	1,302	2.7%	39	406	10.3%	32	13,000	94
0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	64,488	0.0%	114	44	0.1%	106	10	0.3%	109	6,449	109
0109 その他の感染症及び寄生虫症	5,399,222	0.5%	56	796	1.6%	49	353	9.0%	36	15,295	82
II. 新生物<腫瘍>	177,137,546	15.2%		4,030	8.2%		1,147	29.2%		154,436	
0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	13,940,328	1.2%	25	621	1.3%	57	268	6.8%	43	52,016	37
0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	14,928,964	1.3%	23	606	1.2%	58	281	7.2%	41	53,128	36
0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	3,713,520	0.3%	70	65	0.1%	101	12	0.3%	108	309,460	7
0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	7,035,416	0.6%	51	348	0.7%	73	101	2.6%	74	69,658	27
0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	17,193,685	1.5%	21	408	0.8%	69	148	3.8%	62	116,174	16
0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	9,283,296	0.8%	37	256	0.5%	81	53	1.3%	86	175,157	10
0207 子宮の悪性新生物<腫瘍>	687,787	0.1%	100	82	0.2%	99	39	1.0%	91	17,636	77
0208 悪性リンパ腫	12,788,439	1.1%	29	121	0.2%	96	19	0.5%	103	673,076	2
0209 白血病	3,869,651	0.3%	68	15	0.0%	113	2	0.1%	117	1,934,826	1
0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	76,139,420	6.6%	1	1,657	3.4%	33	484	12.3%	23	157,313	13
0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	17,557,040	1.5%	20	1,019	2.1%	42	484	12.3%	23	36,275	46
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	10,954,777	0.9%		1,285	2.6%		322	8.2%		34,021	
0301 貧血	6,701,097	0.6%	52	883	1.8%	45	204	5.2%	49	32,849	50
0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	4,253,680	0.4%	64	502	1.0%	63	159	4.0%	60	26,753	56
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	99,710,159	8.6%		13,602	27.8%		1,653	42.1%		60,321	
0401 甲状腺障害	5,782,314	0.5%	54	1,368	2.8%	37	310	7.9%	38	18,653	73
0402 糖尿病	53,941,821	4.6%	3	5,753	11.8%	5	977	24.9%	8	55,212	34
0403 脂質異常症	30,599,977	2.6%	10	8,062	16.5%	2	840	21.4%	11	36,429	45
0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	9,386,047	0.8%	35	2,827	5.8%	18	449	11.4%	28	20,904	66
V. 精神及び行動の障害	57,780,258	5.0%		4,237	8.7%		418	10.6%		138,230	
0501 血管性及び詳細不明の認知症	1,299,380	0.1%	94	41	0.1%	107	10	0.3%	109	129,938	14
0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	106,263	0.0%	112	18	0.0%	112	4	0.1%	116	26,566	57
0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	27,249,063	2.3%	13	1,692	3.5%	31	117	3.0%	67	232,898	8

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	1,162,331,780	48,856	3,928

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	15,256,227	1.3%	22	2,060	4.2%	25	169	4.3%	58	90,274	21
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	4,814,991	0.4%	60	1,942	4.0%	27	228	5.8%	47	21,118	65
0506	知的障害<精神遅滞>	23,943	0.0%	118	11	0.0%	115	7	0.2%	113	3,420	118
0507	その他の精神及び行動の障害	9,030,391	0.8%	40	129	0.3%	94	25	0.6%	95	361,216	5
VI. 神経系の疾患		49,243,470	4.2%		7,766	15.9%		886	22.6%		55,580	
0601	パーキンソン病	2,984,290	0.3%	75	287	0.6%	79	25	0.6%	95	119,372	15
0602	アルツハイマー病	2,089,425	0.2%	85	158	0.3%	90	21	0.5%	102	99,496	19
0603	てんかん	6,523,852	0.6%	53	519	1.1%	62	57	1.5%	85	114,454	17
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	8,176,433	0.7%	43	124	0.3%	95	23	0.6%	97	355,497	6
0605	自律神経系の障害	188,502	0.0%	109	241	0.5%	83	48	1.2%	88	3,927	115
0606	その他の神経系の疾患	29,280,968	2.5%	11	6,974	14.3%	4	810	20.6%	12	36,149	47
VII. 眼及び付属器の疾患		50,013,687	4.3%		4,897	10.0%		1,362	34.7%		36,721	
0701	結膜炎	5,679,250	0.5%	55	2,051	4.2%	26	657	16.7%	16	8,644	102
0702	白内障	9,224,422	0.8%	38	1,672	3.4%	32	355	9.0%	35	25,984	58
0703	屈折及び調節の障害	7,125,658	0.6%	49	3,401	7.0%	11	1,097	27.9%	3	6,496	108
0704	その他の眼及び付属器の疾患	27,984,357	2.4%	12	2,997	6.1%	16	763	19.4%	13	36,677	44
VIII. 耳及び乳様突起の疾患		7,767,906	0.7%		1,769	3.6%		517	13.2%		15,025	
0801	外耳炎	350,721	0.0%	104	240	0.5%	84	91	2.3%	76	3,854	116
0802	その他の外耳疾患	1,346,987	0.1%	93	782	1.6%	52	287	7.3%	39	4,693	114
0803	中耳炎	2,169,424	0.2%	82	581	1.2%	59	164	4.2%	59	13,228	93
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	720,008	0.1%	99	64	0.1%	102	23	0.6%	97	31,305	52
0805	メニエール病	1,428,170	0.1%	91	290	0.6%	78	75	1.9%	81	19,042	72
0806	その他の内耳疾患	347,255	0.0%	105	52	0.1%	103	23	0.6%	97	15,098	83
0807	その他の耳疾患	1,405,341	0.1%	92	424	0.9%	67	147	3.7%	63	9,560	98
IX. 循環器系の疾患		189,563,188	16.3%		17,004	34.8%		1,669	42.5%		113,579	
0901	高血圧性疾患	71,240,758	6.1%	2	14,283	29.2%	1	1,315	33.5%	1	54,175	35
0902	虚血性心疾患	31,679,245	2.7%	9	3,058	6.3%	15	420	10.7%	30	75,427	25
0903	その他の心疾患	33,721,729	2.9%	8	3,768	7.7%	9	524	13.3%	22	64,354	30
0904	くも膜下出血	167,029	0.0%	110	12	0.0%	114	8	0.2%	112	20,879	67
0905	脳内出血	8,004,182	0.7%	45	95	0.2%	97	47	1.2%	89	170,302	11
0906	脳梗塞	20,966,353	1.8%	17	2,407	4.9%	21	274	7.0%	42	76,520	23
0907	脳動脈硬化(症)	7,545	0.0%	119	3	0.0%	118	2	0.1%	117	3,773	117
0908	その他の脳血管疾患	8,026,696	0.7%	44	371	0.8%	71	106	2.7%	72	75,724	24
0909	動脈硬化(症)	3,930,059	0.3%	67	704	1.4%	54	129	3.3%	65	30,466	54
0911	低血圧(症)	225,209	0.0%	108	90	0.2%	98	17	0.4%	104	13,248	92
0912	その他の循環器系の疾患	11,594,383	1.0%	31	557	1.1%	60	128	3.3%	66	90,581	20
X. 呼吸器系の疾患		73,493,592	6.3%		9,801	20.1%		2,254	57.4%		32,606	
1001	急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>	2,636,297	0.2%	80	812	1.7%	48	470	12.0%	25	5,609	111
1002	急性咽喉炎及び急性扁桃炎	7,071,132	0.6%	50	2,619	5.4%	20	1,025	26.1%	5	6,899	103
1003	その他の急性上気道感染症	7,417,564	0.6%	47	3,231	6.6%	13	847	21.6%	10	8,757	101

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	1,162,331,780	48,856	3,928

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
1004	肺炎	7,979,587	0.7%	46	337	0.7%	74	179	4.6%	55	44,579	41
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	3,633,617	0.3%	71	1,812	3.7%	29	674	17.2%	15	5,391	113
1006	アレルギー性鼻炎	9,633,731	0.8%	34	4,158	8.5%	7	1,040	26.5%	4	9,263	100
1007	慢性副鼻腔炎	1,286,826	0.1%	95	274	0.6%	80	89	2.3%	77	14,459	87
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	1,765,296	0.2%	87	464	0.9%	66	262	6.7%	44	6,738	107
1009	慢性閉塞性肺疾患	5,206,024	0.4%	58	788	1.6%	51	117	3.0%	67	44,496	42
1010	喘息	9,304,828	0.8%	36	1,914	3.9%	28	430	10.9%	29	21,639	63
1011	その他の呼吸器系の疾患	17,558,690	1.5%	19	1,324	2.7%	38	596	15.2%	19	29,461	55
X I . 消化器系の疾患		86,883,470	7.5%		12,270	25.1%		1,890	48.1%		45,970	
1101	う蝕 ※	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1102	歯肉炎及び歯周疾患	1,164	0.0%	121	1	0.0%	120	1	0.0%	120	1,164	121
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	43,045	0.0%	117	30	0.1%	110	17	0.4%	104	2,532	120
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	10,000,001	0.9%	33	3,274	6.7%	12	582	14.8%	20	17,182	78
1105	胃炎及び十二指腸炎	14,617,338	1.3%	24	4,652	9.5%	6	979	24.9%	7	14,931	84
1106	痔核	1,896,008	0.2%	86	333	0.7%	75	102	2.6%	73	18,588	74
1107	アルコール性肝疾患	446,923	0.0%	103	135	0.3%	92	27	0.7%	94	16,553	81
1108	慢性肝炎(アルコール性のものを除く)	540,685	0.0%	102	179	0.4%	87	28	0.7%	92	19,310	71
1109	肝硬変(アルコール性のものを除く)	1,733,646	0.1%	88	311	0.6%	77	67	1.7%	83	25,875	59
1110	その他の肝疾患	3,563,464	0.3%	72	1,073	2.2%	41	378	9.6%	34	9,427	99
1111	胆石症及び胆のう炎	9,144,323	0.8%	39	532	1.1%	61	176	4.5%	56	51,956	38
1112	膵疾患	4,803,087	0.4%	61	320	0.7%	76	156	4.0%	61	30,789	53
1113	その他の消化器系の疾患	40,093,786	3.4%	5	7,021	14.4%	3	1,123	28.6%	2	35,702	48
X II . 皮膚及び皮下組織の疾患		26,404,625	2.3%		5,157	10.6%		1,283	32.7%		20,580	
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	2,827,374	0.2%	76	406	0.8%	70	190	4.8%	51	14,881	85
1202	皮膚炎及び湿疹	13,171,765	1.1%	27	3,796	7.8%	8	988	25.2%	6	13,332	91
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	10,405,486	0.9%	32	2,297	4.7%	23	625	15.9%	17	16,649	80
X III . 筋骨格系及び結合組織の疾患		127,283,785	11.0%		10,906	22.3%		1,586	40.4%		80,255	
1301	炎症性多発性関節障害	20,698,446	1.8%	18	2,179	4.5%	24	328	8.4%	37	63,105	32
1302	関節症	33,756,226	2.9%	7	2,856	5.8%	17	406	10.3%	32	83,143	22
1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	26,219,734	2.3%	14	2,787	5.7%	19	460	11.7%	26	56,999	33
1304	椎間板障害	4,825,546	0.4%	59	723	1.5%	53	146	3.7%	64	33,052	49
1305	頸腕症候群	2,812,515	0.2%	77	1,383	2.8%	35	285	7.3%	40	9,868	97
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	8,422,556	0.7%	42	3,162	6.5%	14	600	15.3%	18	14,038	88
1307	その他の脊柱障害	1,502,820	0.1%	90	349	0.7%	72	89	2.3%	77	16,886	79
1308	肩の傷害<損傷>	3,169,441	0.3%	73	898	1.8%	44	174	4.4%	57	18,215	75
1309	骨の密度及び構造の障害	12,071,849	1.0%	30	1,806	3.7%	30	259	6.6%	45	46,609	39
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	13,804,652	1.2%	26	2,342	4.8%	22	546	13.9%	21	25,283	60

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	1,162,331,780	48,856	3,928

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	73,174,708	6.3%		4,040	8.3%		872	22.2%		83,916	
1401 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	3,840,393	0.3%	69	676	1.4%	56	180	4.6%	54	21,336	64
1402 腎不全	45,755,124	3.9%	4	909	1.9%	43	107	2.7%	71	427,618	4
1403 尿路結石症	4,209,532	0.4%	65	254	0.5%	82	63	1.6%	84	66,818	29
1404 その他の腎尿路系の疾患	8,478,734	0.7%	41	1,381	2.8%	36	410	10.4%	31	20,680	69
1405 前立腺肥大(症)	4,323,013	0.4%	63	704	1.4%	54	95	2.4%	75	45,505	40
1406 その他の男性生殖器系の疾患	789,838	0.1%	97	182	0.4%	86	40	1.0%	90	19,746	70
1407 月経障害及び閉経周辺期障害	1,624,213	0.1%	89	416	0.9%	68	78	2.0%	80	20,823	68
1408 乳房及びその他の女性生殖器系の疾患	4,153,861	0.4%	66	480	1.0%	65	235	6.0%	46	17,676	76
XV. 妊娠, 分娩及び産じょく	2,145,456	0.2%		69	0.1%		30	0.8%		71,515	
1501 流産	47,734	0.0%	116	2	0.0%	119	2	0.1%	117	23,867	62
1502 妊娠高血圧症候群	6,848	0.0%	120	1	0.0%	120	1	0.0%	120	6,848	104
1503 単胎自然分娩	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1504 その他の妊娠, 分娩及び産じょく	2,090,874	0.2%	84	67	0.1%	100	28	0.7%	92	74,674	26
XVI. 周産期に発生した病態	2,465,521	0.2%		37	0.1%		18	0.5%		136,973	
1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	2,121,472	0.2%	83	29	0.1%	111	13	0.3%	107	163,190	12
1602 その他の周産期に発生した病態	344,049	0.0%	106	8	0.0%	117	5	0.1%	115	68,810	28
XVII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	4,481,863	0.4%		212	0.4%		79	2.0%		56,732	
1701 心臓の先天奇形	49,572	0.0%	115	38	0.1%	109	9	0.2%	111	5,508	112
1702 その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	4,432,291	0.4%	62	174	0.4%	88	70	1.8%	82	63,318	31
XVIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	13,027,338	1.1%		3,549	7.3%		963	24.5%		13,528	
1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	13,027,338	1.1%	28	3,549	7.3%	10	963	24.5%	9	13,528	89
XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	52,979,282	4.6%		2,261	4.6%		871	22.2%		60,826	
1901 骨折	22,129,558	1.9%	15	789	1.6%	50	220	5.6%	48	100,589	18
1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	7,253,768	0.6%	48	41	0.1%	107	16	0.4%	106	453,361	3
1903 熱傷及び腐食	839,333	0.1%	96	47	0.1%	104	22	0.6%	100	38,152	43
1904 中毒	747,405	0.1%	98	169	0.3%	89	110	2.8%	69	6,795	106
1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	22,009,218	1.9%	16	1,450	3.0%	34	686	17.5%	14	32,083	51
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,769,301	0.2%		1,184	2.4%		189	4.8%		14,652	
2101 検査及び診査のための保健サービスの利用者	64,534	0.0%	113	10	0.0%	116	6	0.2%	114	10,756	96
2102 予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2103 正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2104 歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	1,162,331,780	48,856	3,928

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
2105	特定の処置(歯の補てつを除外)及び保健ケアのための保健サービスの利用者	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	2,704,767	0.2%	78	1,174	2.4%	40	185	4.7%	53	14,620	86
XXII. 特殊目的用コード		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2220	その他の特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
分類外		138,130	0.0%		47	0.1%		22	0.6%		6,279	
9999	分類外	138,130	0.0%	111	47	0.1%	104	22	0.6%	100	6,279	110

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

3. 保健事業実施に係る分析結果

(1) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析

人工透析患者の分析を行った。「透析」は傷病名ではないため、「透析」にあたる診療行為が行われている患者を特定し、集計した。

分析の結果、起因が明らかとなった患者のうち、63.6%が生活習慣を起因とするものであり、その54.5%が糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることが分かった。

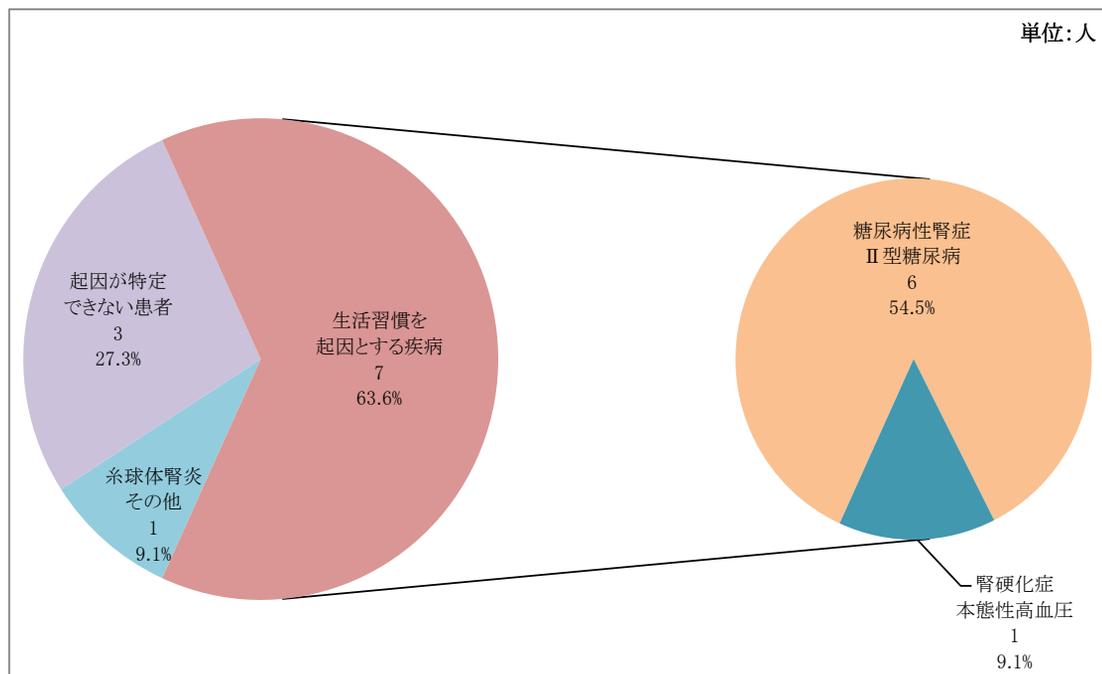
対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

透析療法の種類	透析患者数 (人)
血液透析のみ	11
腹膜透析のみ	0
血液透析及び腹膜透析	0
透析患者合計	11

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

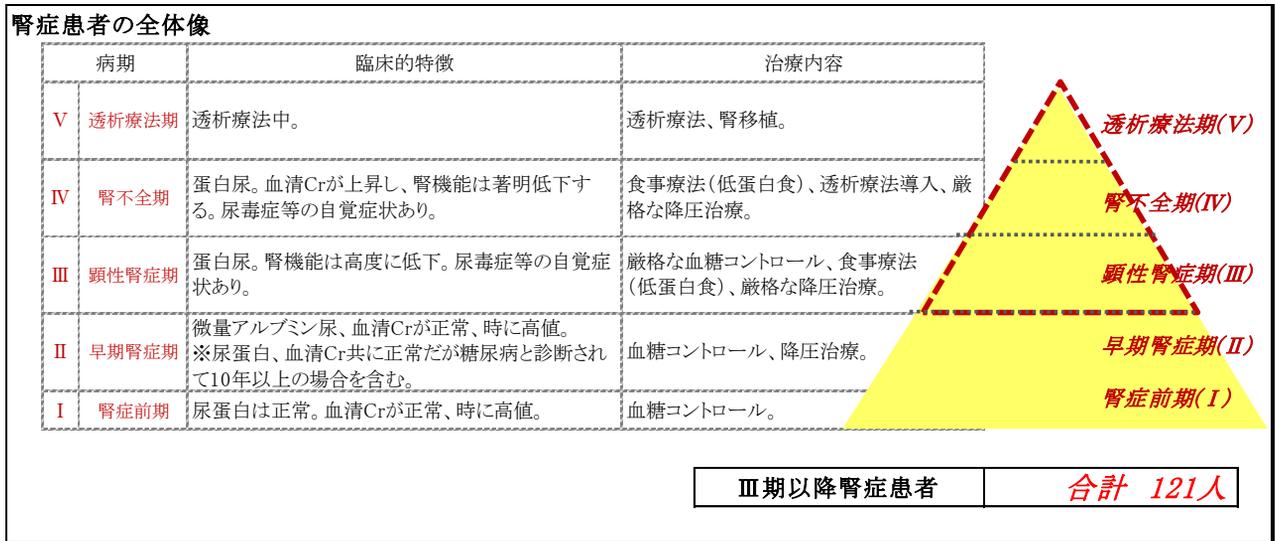
データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て分析し、適切な対象者集団を特定する。その結果、腎症患者121人中26人の適切な指導対象者を特定した。

腎症患者の全体像を以下に示す。

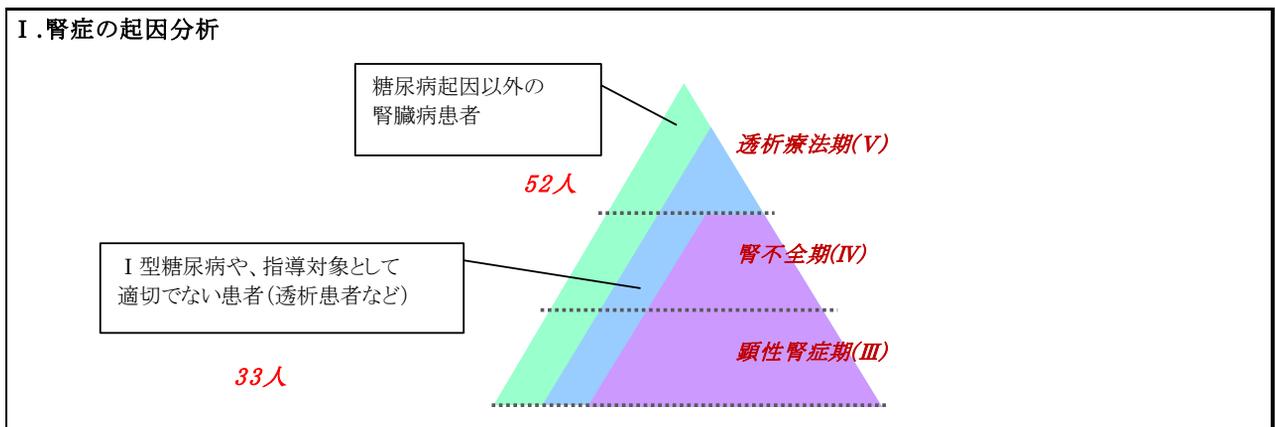
腎症患者の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

「腎症の起因分析」を以下に示す。緑色部分は糖尿病起因以外の腎臓病患者と考えられ、52人の患者が存在する。また、青色部分は糖尿病患者であるが、生活習慣を起因としていない糖尿病患者や、指導対象として適切でない患者(透析患者、腎臓移植した可能性がある患者、すでに資格喪失している等)と考えられ、33人の患者が存在する。紫色部分は生活習慣起因の糖尿病または腎症と考えられる患者で、この患者層が保健指導対象者として適切となる。

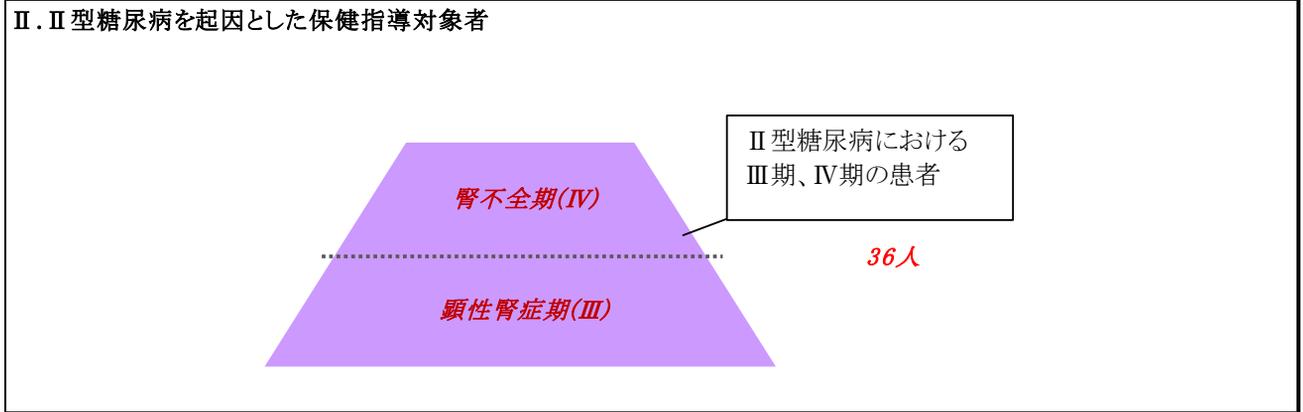
腎症の起因分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」を以下の通り示す。腎不全期または顕性腎症期の患者は合わせて36人となった。重症化予防を実施するに当たり、適切な病期は、透析への移行が近い腎不全期、腎機能が急激に低下する顕性腎症期となる。

Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者

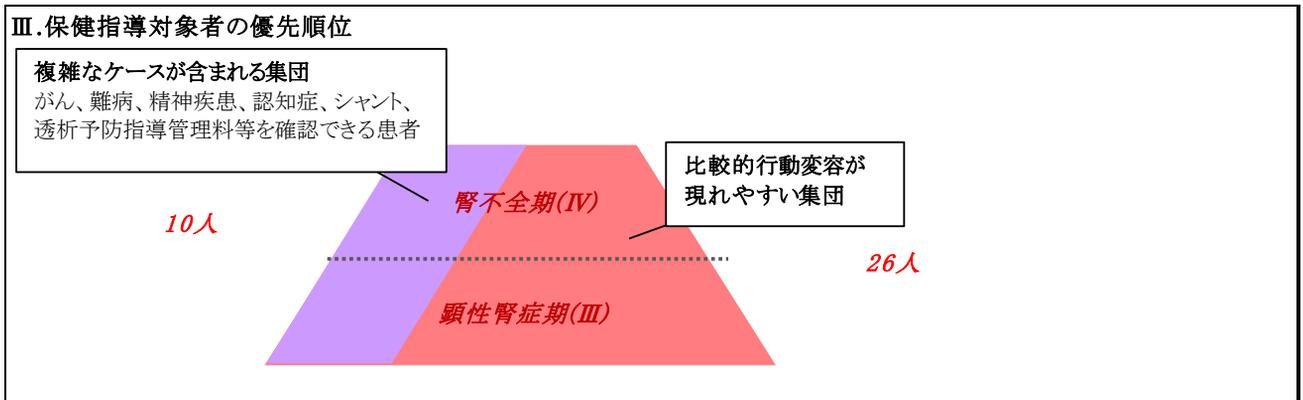


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、個人毎の状態を見極め、「保健指導対象者の優先順位」について分析した。36人のうち「複雑なケースが含まれる集団」、つまり、がん、難病、精神疾患、認知症等が含まれる患者は、10人存在する。

一方、それらの疾病が確認できない「比較的行動変容が現れやすい集団」は、26人存在する。保健事業を行う上で、これら2つのグループには費用対効果に大きな違いがある。「比較的行動変容が現れやすい集団」が本事業の対象者である。

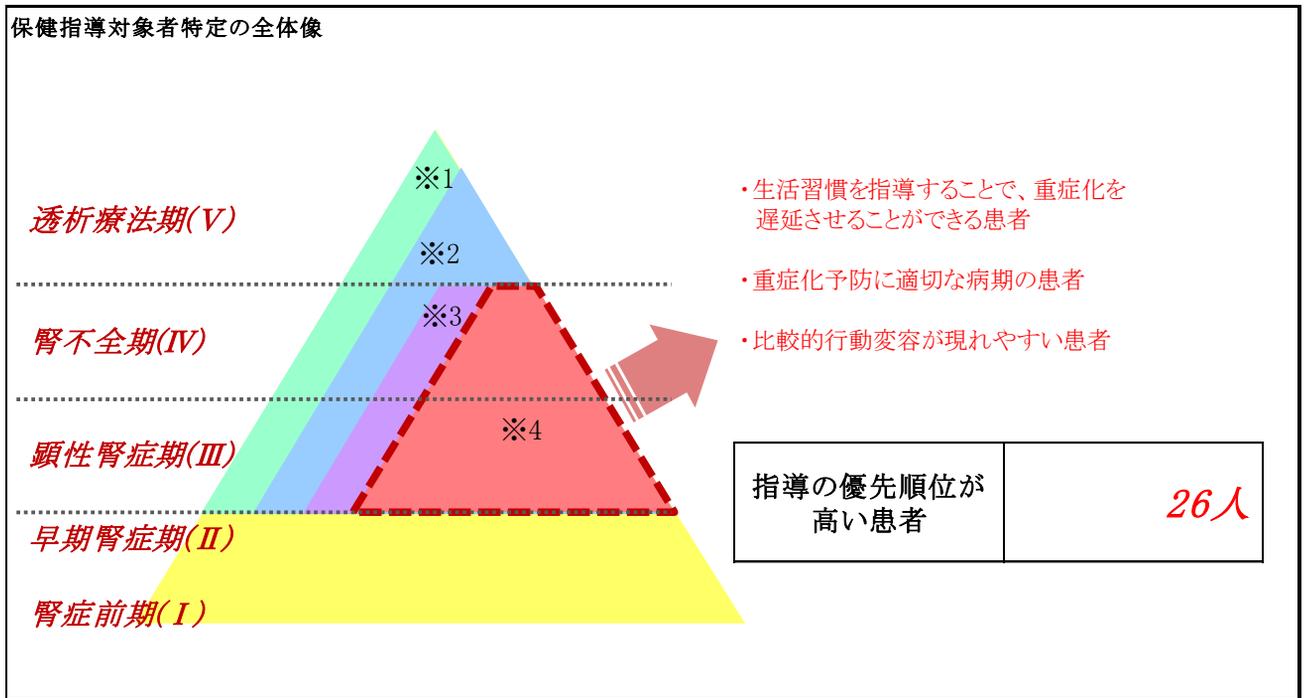
保健指導対象者の優先順位



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

以上の分析のように「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て、適切な指導対象者は、26人となった。この分析の全体像を以下に示す。

保健指導対象者特定の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※1…糖尿病起因以外の腎臓病患者

※2…Ⅰ型糖尿病や、指導対象として適切でない患者(透析患者等)

※3…複雑なケースが含まれる集団(がん、難病、精神疾患、認知症等を確認できる患者)

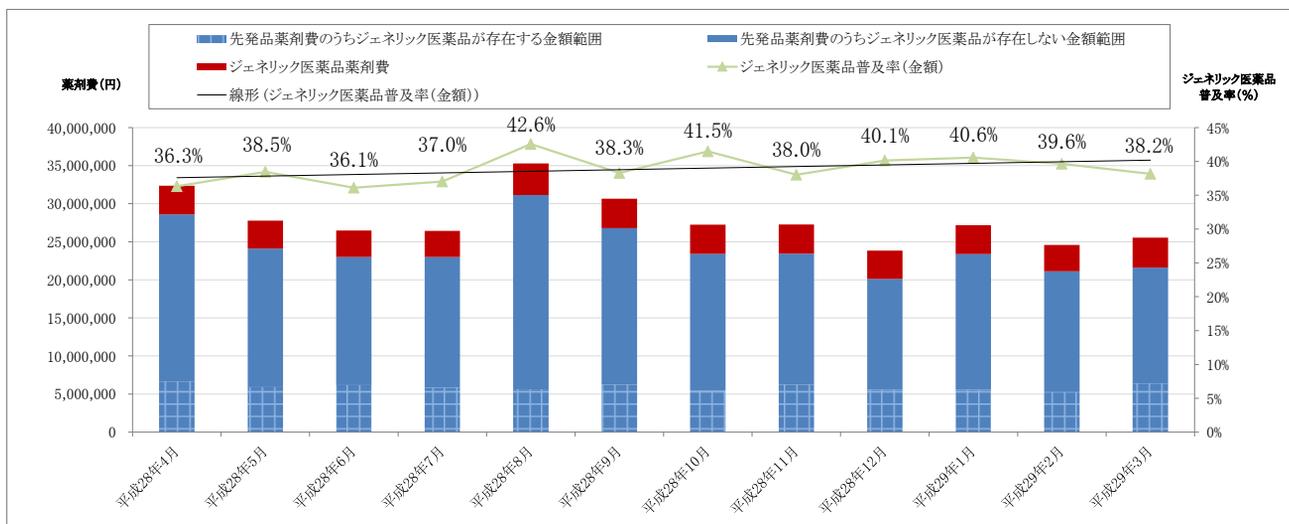
※4…比較的行動変容が現れやすい患者

(2) ジェネリック医薬品普及率に係る分析

先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを患者に促し薬剤費の削減を図る。ジェネリック医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの患者に対してアプローチできる利点がある。

以下に平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を示す。現在、ジェネリック医薬品普及率は38.9%(金額ベース)、63.3%(数量ベース)である。

ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

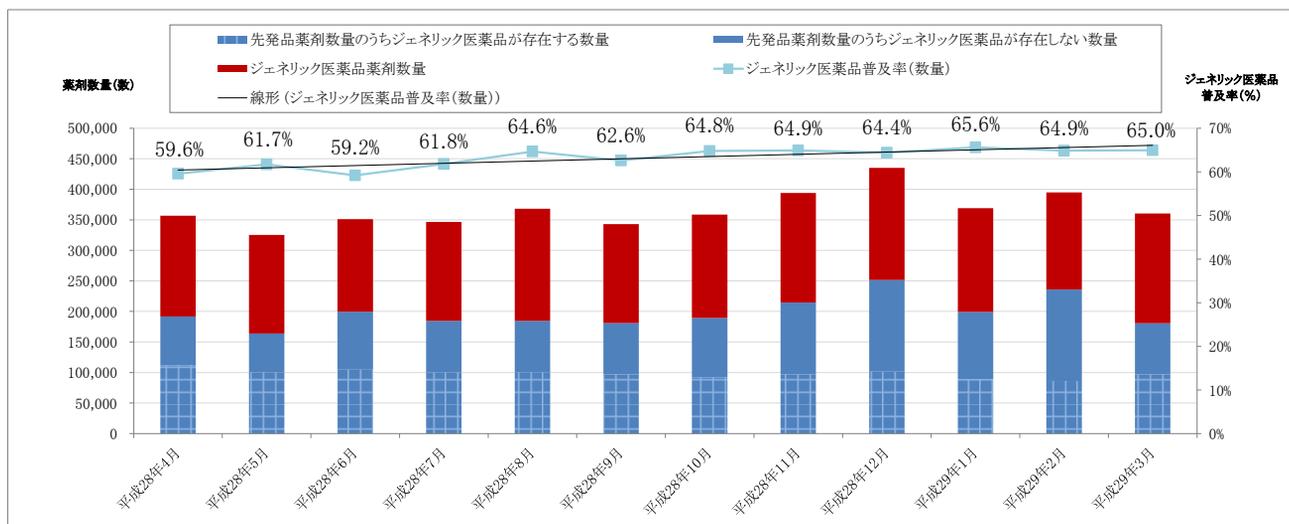


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



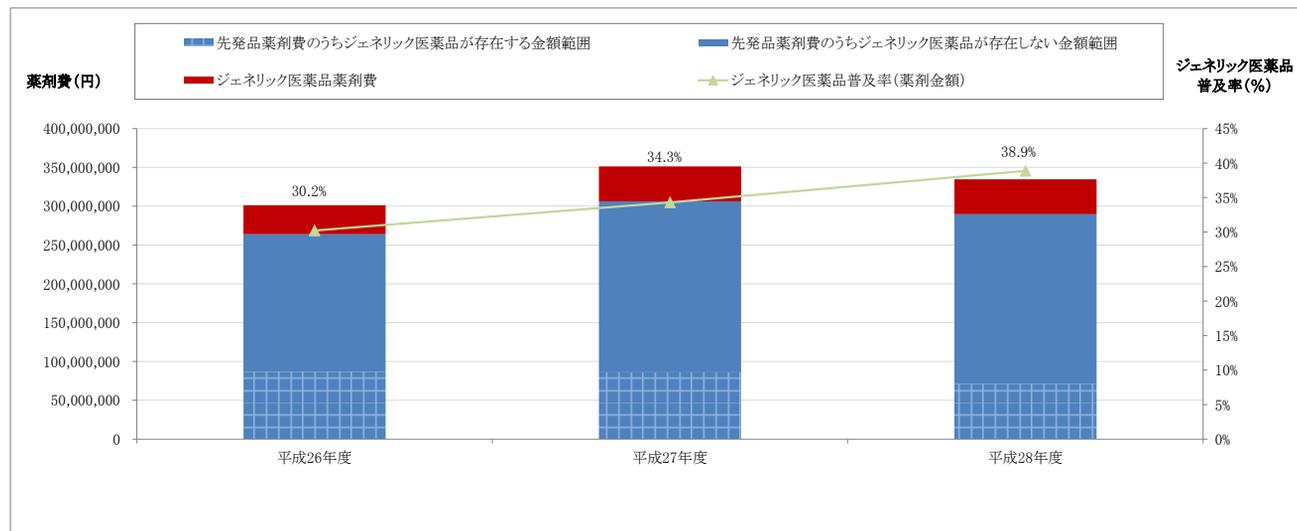
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

平成26年度から平成28年度における、ジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を年度別に示す。平成28年度ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)38.9%は、平成26年度30.2%より8.7ポイント上昇しており、平成28年度ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)63.3%は、平成26年度52.7%より10.6ポイント上昇している。

年度別 ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

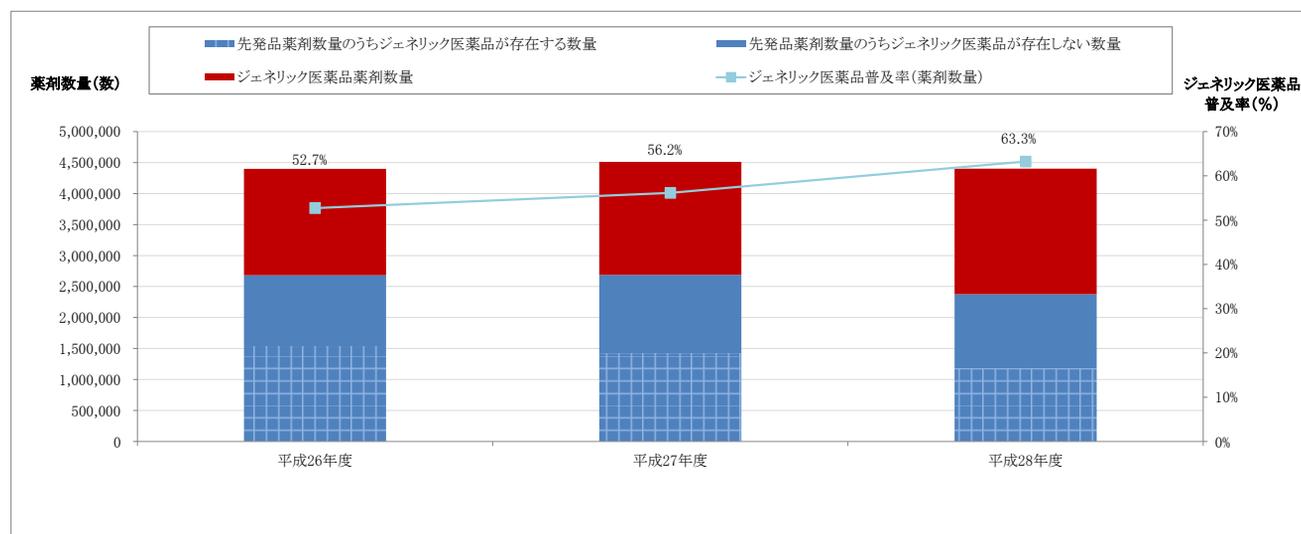


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

年度別 ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

4. 過去の取り組みの考察(第1期データヘルス計画の振り返り)

第1期データヘルス計画（平成27年度～平成29年度）に基づき実施した各事業についての達成状況を以下に示す。

事業名	事業目的および概要	実施内容
特定健診 未受診者対策	<p>【目的】 特定健診の未受診者の受診促進</p> <p>【概要】 特定健診は被保険者の健康状態の把握、生活習慣病の早期発見のために実施している。特定健診を受診していない被保険者に対して、通知書を送付することで受診勧奨を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健診受診を習慣化できるように、その必要性を訴えて広報する。 ・当日の飛び込み受診にも対応できるようにする。 ・継続して毎年受診できていない者に対して受診勧奨を行う。 ・特定健診を日曜日に実施する。
特定保健指導事業	<p>【目的】 被保険者の生活習慣病予防</p> <p>【概要】 特定健診の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話、e-mail等で行う。被保険者が特定健診受診後、順次、特定保健指導対象者を特定し実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導対象者に対して適切な保健指導を行う。 ・健診データより検査値の推移を確認する。
がん検診事業	<p>【目的】 被保険者のがん早期発見</p> <p>【概要】 早期発見を目的とし、各種がん検診を実施している。がん検診の受診率を向上させるとともに、がん検診受診の結果、要精密検査だった被保険者については、精密検査を受診したかどうか等をフォローする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い年齢層に対して健康やがん予防についての情報提供を行い検診受診への動機づけを図る。（個別受診案内状（クーポン券の配布）、健康づくり講演会や小中学生への禁煙教室の実施等） ・年度末において精密検査未受診者に対し再受診勧奨を行う。
糖尿病性腎症重症化 予防事業	<p>【目的】 被保険者の糖尿病重症化予防</p> <p>【概要】 特定健診の検査値とレセプトの治療状況から対象者を特定し、専門職より対象者個人に6ヵ月間の面談指導と電話指導を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導対象者に対して適切な保健指導を行う。 ・健診、レセプトデータより検査値の推移、定期的な通院の有無等を確認。

目標値(平成29年度末)	達成状況 (平成28年度実績)	考察と課題
<p>【アウトプット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健診受診を習慣化できるように、その必要性を訴えて広報する。 ・当日の飛び込み受診にも対応できるようにする。 ・継続して毎年受診できていない者に対して受診勧奨を行う。 ・特定健診を日曜日に実施する。 <p>【アウトカム】</p> <p>特定健診受診率5%向上</p>	<p>【特定健診受診率】</p> <p>平成27年度 29.1% 平成28年度 26.8% (2.3%減少)</p>	<p>集団健診を日曜日に実施したり、健康推進員による受診勧奨等による向上率アップの工夫を実施しているが、なかなか受診率アップにつながらない。</p>
<p>【アウトプット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導対象者の指導実施率10%向上 ・指導対象者の生活習慣改善率50% <p>【アウトカム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的支援及び動機付け支援対象者数 10%減少 	<p>【積極的支援対象者】</p> <p>平成27年度 35人 平成28年度 31人 (11%減少)</p> <p>【動機付け支援対象者】</p> <p>平成27年度 60人 平成28年度 48人 (20%減少)</p>	<p>積極的支援対象者11%減少、動機付け支援対象者20%減少とアウトカム指標を達成することができた。</p>
<p>【アウトプット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度早々にクーポン券を配布しがん検診を周知 ・がん検診要精密検査未受診者への受診勧奨 100% <p>【アウトカム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん検診受診率を現状より5%上昇させる。 ・要精密検査者の精密検査受診率98% (100%に近づける。) 	<p>【平成27年度→28年度】</p> <p>胃がん 13.7%→12.0% (1.7%減少) 大腸がん16.8%→16.0% (0.8%減少) 肺がん 17.0%→16.3% (0.7%減少) 子宮がん41.3%→40.8% (0.5%減少) 乳がん 27.0%→28.5% (1.5%上昇)</p> <p>【精密検査受診率】</p> <p>胃・大腸70% 肺・子宮84.6% 乳がん100%</p>	<p>乳がん検診の受診率は上昇させることができたが、他の検診の受診率はわずかながら下がってしまった。</p> <p>健診と同日実施できるなどの工夫を継続的に続けていく。</p>
<p>【アウトプット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導対象者の指導実施率 20% ・指導実施完了者の生活習慣改善率 70% ・指導実施完了者の検査値改善率70% <p>【アウトカム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導実施完了者の糖尿病性腎症における病期進行者1人 	<p>【平成27年度】</p> <p>指導実施率 6.6% (4人/61人) 生活習慣改善率…BMI目標範囲内維持及び改善率50% (2人/4人) 検査値改善率…HbA1c目標範囲内維持及び改善率33% (1人/3人) eGFR維持及び改善率 0% (0人/1人)</p> <p>【平成28年度】</p> <p>指導実施率 3.1% (2人/65人) 生活習慣改善率…BMI目標範囲内維持及び改善率50% (1人/2人) 検査値改善率…HbA1c目標範囲内維持及び改善率50% (1人/2人) eGFR維持及び改善率 100% (2人/2人)</p>	<p>指導対象者の指導実施率、指導実施完了者の生活習慣改善率・検査値改善率について目標を達成することができなかったが、検査値の維持や改善が見られた患者の方もいらっしゃったので、継続的に続けていく。</p>

事業名	事業目的および概要	実施内容
<p>受診行動適正化 指導事業 (重複受診、頻回受診、重複服薬)</p>	<p>【目的】 重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少</p> <p>【概要】 レセプトから、医療機関への過度な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、指導する。 指導は専門職によるもので、適正な医療機関へのかかり方について、面談指導または電話指導を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導対象者に対して適切な保健指導を行う。 ・指導後に医療機関への受診行動が適正化されているか確認する。
<p>ジェネリック医薬品 差額通知事業</p>	<p>【目的】 ジェネリック医薬品の普及率向上</p> <p>【概要】 レセプトから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。対象者に通知書を送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回、250通程度を想定。
<p>健診異常値放置者受診 勧奨事業</p>	<p>【目的】 健診異常値を放置している対象者の医療機関受診</p> <p>【概要】 特定健診の受診後、その結果に異常値があるにも関わらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う事業を実施するための計画を策定する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健診異常値放置者に対して保健事業を実施するかどうか検討する。また、実施する場合の内容について検討する。
<p>生活習慣病治療中断者 受診勧奨事業</p>	<p>【目的】 生活習慣病治療中断者の減少</p> <p>【概要】 レセプトから、かつて生活習慣病の治療を受けていたにもかかわらず、一定期間、医療機関受診が確認できず、治療を中断している可能性のある対象者を特定し、対象者に通知書を送付することで、受診勧奨を行う事業を実施するための計画を策定する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病治療中断者に対して保健事業を実施するかどうか検討する。また、実施する場合の内容について検討する。
<p>薬剤併用禁忌 防止事業</p>	<p>【目的】 薬剤併用禁忌の発生件数減少</p> <p>【概要】 レセプトから、薬剤併用禁忌の発生状況を把握する。薬剤併用禁忌の対象者リストを作成し、医療機関へ情報提供を行う事業を実施するための計画を策定する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤併用禁忌が発生している被保険者に対して保健事業を実施するかどうか検討する。また、実施する場合の内容について検討する。

目標値(平成29年度末)	達成状況	課題と考察
<p>【アウトプット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導対象者の指導実施率 57% ・指導実施完了者の受診行動適正化 50% <p>【アウトカム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導実施完了者の医療費を指導実施前より50%減少 <p>【アウトカム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重複、頻回受診者数、重複服薬者数20%減少 	<p>【平成27年度】</p> <p>指導実施率 40% (2人/5人) 受診行動適正化 50% (1人/2人) 医療費：指導前21,623円→指導後0円</p> <p>【平成28年度】</p> <p>指導実施率 14.3% (1人/7人) 受診行動適正化 100% (1人/1人) 医療費：指導前26,536円→指導後0円</p> <p>【重複・頻回受診、重複服薬者数】</p> <p>平成27年度 146人 平成28年度 148人 (1.4%増加)</p>	<p>事業実施人数も少なく、事業効果も小さいので、来年度以降は事業実施見送りの方向。</p>
<p>【アウトプット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者への通知率 100% <p>【アウトカム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェネリック医薬品普及率（数量ベース） 通知開始時平均より 5%向上 	<p>平成27年4月 45.9% 平成29年3月 65.1% (19.2%向上)</p>	<p>平成27年度、平成28年度実施して、19.2%向上させることができた。継続的に実施していく。</p>
<p style="text-align: center;">/</p>	<p>平成27年度、平成28年度に通知を実施</p>	<p>平成27年度、平成28年度に事業実施するも医療機関受診につながる結果が少なかったため平成29年度以降事業実施見送り。</p>
<p style="text-align: center;">/</p>	<p>平成27年度、平成28年度に通知を実施</p>	<p>平成27年度、平成28年度に事業実施するも医療機関受診につながる結果が少なかったため平成29年度以降事業実施見送り。</p>
<p style="text-align: center;">/</p>	<p>検討の結果実施見送り</p>	<p>関係諸団体との調整がつかず事業実施見送りとなった。</p>

5. 分析結果に基づく健康課題の把握

	現状分析	課題	健康課題
医療費データ	<p>平成28年度、被保険者数の減少に伴い総医療費の減少を認めるが、一人当たりの医療費は26年度と比較し上昇、有病率の割合も増加している。</p> <p>中分類による疾病別統計医療費（入院＋外来）より、その他の悪性新生物が順位が上昇している。高血圧性疾患、糖尿病、脂質異常症は患者数が多いことより医療費総計の上位に入るが、腎不全、その他の心疾患、虚血性心疾患は患者数半数以下にも関わらず一人当たりの医療費が高額となるため上位に入る。患者一人当たり医療費高額レセプト発生状況でも脳内出血、腎不全、大動脈瘤が20位以内に入り、このことより、生活習慣病が重症化し進行すると高額な医療処置が必要になることが推測される。</p> <p>腎不全の詳細を糖尿病性腎症重症化予防の分析より確認すると、透析起因が明らかになった患者のうち、63.6%が糖尿病や高血圧などの生活習慣病が起因となっており、その中の54.5%が糖尿病を起因として透析に移行した糖尿病性腎症であることがわかった。</p> <p>平成28年度ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)63.3%は、平成26年度52.7%より10.6%上昇しているものの、国の目標である80%にはまだとどいていない。</p>	<p>課題1. 高血圧症、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病は患者数が多く、また、重症化し、大動脈合併症や微小血管合併症などを発症すると、かかる医療費は高額となる。早期から生活習慣病の予防に取組めるよう特定健診の受診率を向上させる必要がある。</p> <p>課題2. メタボ該当者・予備群合わせて受診者の27.5%を占めている。生活習慣の見直しが必要であるが、特定保健指導の利用率も低い状況である。</p>	<p>対策1. 特定健診受診率未受診者対策を強化し受診率向上を図る。</p> <p>対策2. 特定保健指導の利用勧奨を強化し、利用率向上を図る。</p>
健診データ	<p>平成28年度特定健診受診率は26.8%と、平成27年度の29.1%より低下している。積極的支援の対象者割合は平成26年度以降徐々に増加しているが、動機付け支援の対象者割合は徐々に減少している。また、生活習慣の状況より、「1回30分以上の運動習慣なし」が65%以上で回答割合が県、国と比較し高くなっている。</p> <p>利用率について、積極的支援利用率は年度によるばらつきがあるが、動機付け支援利用率は年々減少している。</p> <p>メタボリックシンドローム該当者は平成26年度以降徐々に増加している。</p>	<p>課題3. 悪性新生物が死因統計1位、大分類でも医療費総計2位、一人当たり医療費1位となっている。がん検診受診状況については、肺、大腸、胃の受診率は15%前後と低くなっている。</p>	<p>対策3. がん検診受診率向上に取組む。</p>
介護データ	<p>平成28年度の介護認定率は20.8%で、県、国より割合は低い。要介護度が上昇すると1件当たりの給付金は県、国より高額となっている。要介護者の有病状況は1人平均3.1疾病を有し、心臓病65.1%、高血圧症57.5%、筋・骨格55.0%となっている。</p>	<p>課題4. 腎不全は一人当たり医療費が高額であり、糖尿病性腎症によるものが増えている。</p>	<p>対策4. 早期に人工透析予防が必要である。</p>
その他定量的データ	<p>平成28年度の人口総数13,130人、高齢化率（65歳以上）28.1%である。</p> <p>死因は悪性新生物が最も高いが、県、国と比較し割合は低い。心臓病の割合が次に高く、県、国と比較しても高い数値を示している。</p>	<p>課題5. ジェネリック医薬品普及率は63.6%であり、国の目標とする80%には届いていない。</p>	<p>対策5. ジェネリック医薬品差額通知を継続実施する。</p>
質的情報	<p>受診勧奨を行った際、すでに医療機関にかかっていると回答が多い。</p>	<p>課題6. 健診受診者の質問回答から、運動習慣のない方が多く存在する。筋骨格系の有病率も高くロコモティブシンドロームの原因疾患である関節症が医療費総計の上位に入っていることもあり、運動習慣を身につけてもらう必要がある。</p>	<p>対策6. 運動効果の情報提供や運動教室への参加を促し、運動習慣を身につけてもらう。</p>

第3章 保健事業実施計画

1. 各事業の目的と概要一覧

データヘルス計画にて、実施する事業一覧を以下に示す。

事業名	事業目的	事業概要	ストラクチャー 実施体制
特定健診未受診者対策	特定健診の未受診者の受診促進による健診受診率の向上	特定健診は被保険者の健康状態の把握、生活習慣病の早期発見のために実施している。特定健診を受診していない被保険者に対して、通知書及び電話による受診勧奨を行う。また、受診意欲につながるよう、粗品配布、景品贈呈を行う。	湯浅町
特定保健指導事業	被保険者の生活習慣病予防	特定健診の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話等で行う。方法は厚生労働省による「標準的な健診・保健指導プログラム」に沿うこととする。被保険者が特定健診受診後、順次、特定保健指導対象者を特定し実施する。	湯浅町
がん検診事業	被保険者のがん早期発見	早期発見を目的とし、各種がん検診を実施している。がん検診の受診率を向上させるとともに、がん検診受診の結果、要精密検査だった被保険者については、精密検査を受診したかどうか等をフォローする。	湯浅町
糖尿病性腎症重症化予防事業	被保険者の糖尿病重症化予防	特定健診の検査値とレセプトの治療状況から対象者を特定し、専門職より対象者個人に6ヵ月間の面談指導と電話指導を行う。指導内容は、食事指導・運動指導・服薬管理等とし、指導完了後も自立して正しい生活習慣を持続できるように日常に根付いたものとする。	湯浅町
ジェネリック医薬品差額通知事業	ジェネリック医薬品の普及率向上	レセプトから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。対象者に通知書を送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。	湯浅町 国保連合会
健康教室事業	健康的な運動習慣を身につけ健康の保持・増進ならびに生活習慣病の予防や重症化予防を図る。	ヨガ・エアロビ教室の継続実施と、歩行習慣を身につけるためのウォーキング教室を新たに実施する。	湯浅町

プロセス	目標値				評価方法
	アウトプット		アウトカム		
	平成32年度	平成35年度	平成32年度	平成35年度	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 勸奨通知 保険証送付時に受診券を併せて同封し、健診の案内内容を工夫して送る。40歳誕生日の前月に勸奨通知と受診券を送付する。 ・ 広報 広報紙に健診の案内内容を工夫して掲載する。 ・ 電話勸奨 過去に健診の受診経験のある方のほうが、受診行動に結び付けやすい傾向にあることから、対象者を絞り、勸奨を実施する。また、40歳勸奨通知に併せた電話勸奨を行う。 ・ インセンティブ：抽選で景品贈呈（約100名） ・ 医療機関からの情報提供：協議中 	<p>該当者全員へ勸奨通知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報 6回 ・ 電話勸奨500件 ・ 集団健診 8回 	<p>該当者全員へ勸奨通知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報 6回 ・ 電話勸奨700件 ・ 集団健診 8回 	<p>特定健診受診率</p> <p>H32年度:30%</p> <p>(現状)</p> <p>H28年度:26.8%</p>	<p>特定健診受診率</p> <p>H35年度:33%</p>	<p>特定健診受診率により確認</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定保健指導未利用者に対して電話で利用勸奨を行う。 ・ 集団健診受診者で特定保健指導対象者について結果説明会を実施し保健指導に繋げる。 ・ 医療機関による特定保健指導の実施。 ・ 訪問による指導を検討 ・ 利用者の都合に合わせた指導時間での実施を検討。 	<p>特定保健指導対象者への利用勸奨 100%</p> <p>未受診者への電話勸奨 20件</p> <p>結果説明会55件</p>	<p>特定保健指導対象者への利用勸奨 100%</p> <p>未受診者への電話勸奨 25件</p> <p>結果説明会60件</p>	<p>保健指導利用率</p> <p>積極的支援</p> <p>H32年度:25%</p> <p>動機付け支援</p> <p>H32年度:15%</p> <p>(現状)H28年度</p> <p>積極的:19.4%</p> <p>動機付け:12.5%</p>	<p>保健指導利用率</p> <p>積極的支援</p> <p>H35年度:30%</p> <p>動機付け支援</p> <p>H35年度:20%</p>	<p>特定保健指導利用率により確認</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 幅広い年齢層に対して健康やがん予防についての情報提供を行い検診受診への動機づけを図る。(個別受診案内状(クーポン券の配布)、健康づくり講演会や小中学生への禁煙教室の実施等) ・ 年度末において精密検査未受診者に対し再受診勸奨を行う。 	<p>各がん検診の対象者(20~74歳)全員に個別通知による受診勸奨を実施</p> <p>精密検査再勸奨100%</p>	<p>対象者への個別勸奨実施</p> <p>100%</p>	<p>胃・肺・大 15%</p> <p>子宮 45%</p> <p>乳房 35%</p> <p>精検受診率</p> <p>100%</p>	<p>胃・肺・大 28%</p> <p>子宮 64%</p> <p>乳房 57%</p> <p>精検受診率</p> <p>100%</p>	<p>がん検診受診率</p> <p>精密検査受診率により確認</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導対象者に対して適切な保健指導を行う。 ・ 健診、レセプトデータより検査値の推移、定期的な通院の有無等を確認。 	<p>事業に最適な対象者が抽出できたか</p> <p>指導実施者のうち、指導プログラムを最後まで継続できた方の割合80%以上</p> <p>指導後の患者の状況を確認できたか</p>		<p><指導プログラム完了後></p> <p>HbA1cの値が改善されたか</p> <p>eGFRの値が維持または改善されたか</p> <p>生活習慣(BMI)が改善されたか</p> <p><長期></p> <p>指導プログラムを最後まで継続された方のうち、人工透析に移行される方が0人</p>		<p>指導患者の定期受診時の検査値等で確認する。</p> <p>レセプトデータより新規人工透析患者数の推移を確認する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 年2回、250通程度を想定。 	<p>対象者への通知率100%</p>	<p>対象者への通知率100%</p>	<p>ジェネリック医薬品</p> <p>普及率 70%</p>	<p>ジェネリック医薬品</p> <p>普及率 80%</p>	<p>国保連合会にて確認</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 運動習慣を身につけるためヨガ・エアロビを開催する。 ・ ウォーキング教室 ・ 参加勸奨は広報に掲載し周知する。 ・ 地区集会や集団健診等で呼びかける。 	<p>エアロビ教室</p> <p>135回</p> <p>ウォーキング教室</p> <p>2回</p>	<p>エアロビ教室</p> <p>135回</p> <p>ウォーキング教室</p> <p>4回</p>	<p>参加者人数</p>		<p>参加者人数により確認</p>

2. 各事業の実施内容と評価方法

本計画における実施事業及び評価方法は以下の通りである。

(1) 特定健診未受診者対策

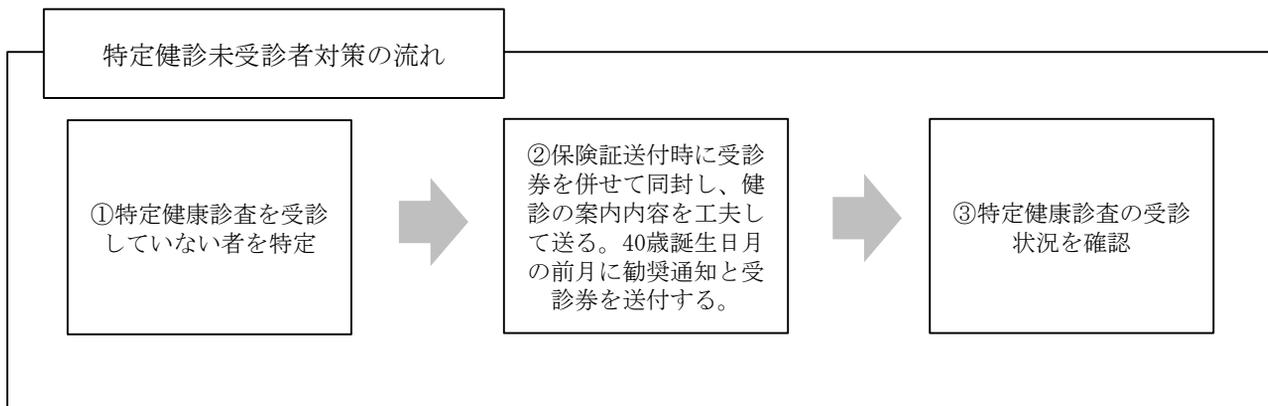
【事業目的】

健診受診率の向上

【事業概要】

健診未受診の被保険者に対して受診を促す取組を実施する。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
<ul style="list-style-type: none"> ・勧奨通知: 該当者全員 ・広報 6回 ・電話勧奨 700件 ・集団健診 8回 	特定健診受診率 目標 平成35年度 33%	特定健診受診率により確認

【実施スケジュール】平成31年度以降も下記スケジュールを基本とする。

年間スケジュール														
平成30年												平成31年		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
内容検討						勧奨通知			再勧奨通知				景品贈呈	
					対象者抽出			電話勧奨						

(2) 特定保健指導事業

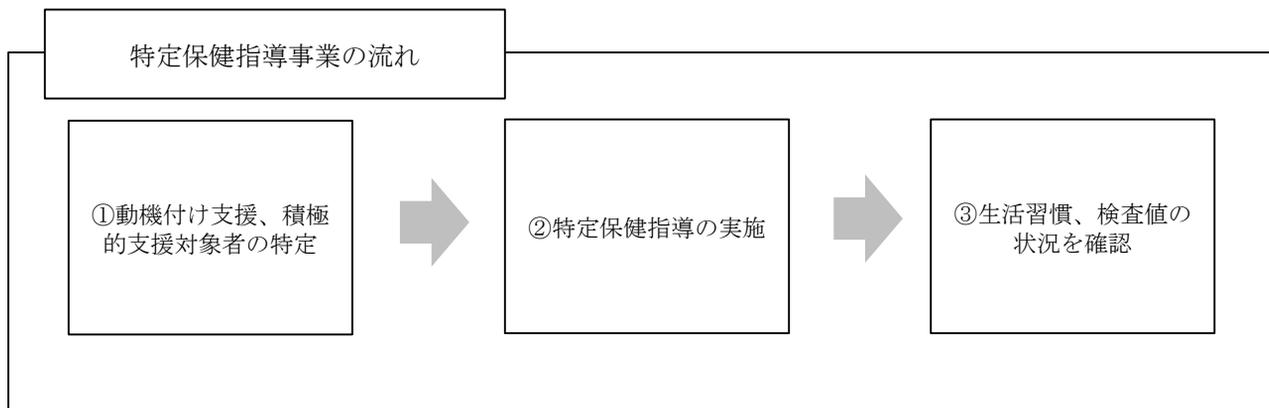
【事業目的】

被保険者の生活習慣予防

【事業概要】

特定保健指導対象者を特定し、専門職による支援を行う。

【事業内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標	評価方法
特定保健指導対象者への利用勧奨 100%	保健指導利用率 積極的支援 平成35年度 30% 動機付け支援 平成35年度 20%	保健指導利用率により確認

【実施スケジュール】 平成31年度以降も下記スケジュールを基本とする。

年間スケジュール														
平成30年												平成31年		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
内容検討														
									← 対象者抽出					
									← 電話勧奨					
									← 結果説明会					
									← 利用案内					

(4) 糖尿病性腎症重症化予防事業

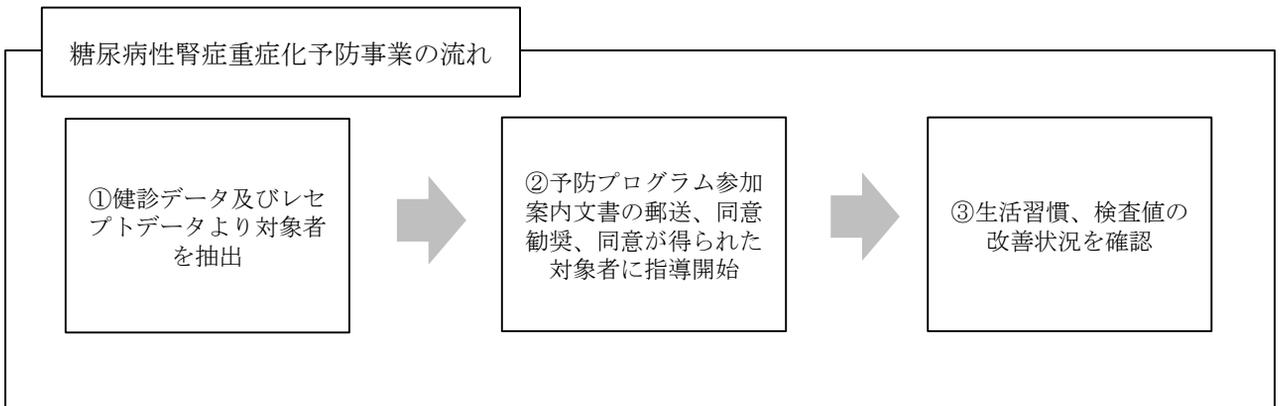
【事業目的】

被保険者の糖尿病重症化予防

【事業概要】

特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けることができるように専門職より対象者に6カ月間の面談指導と電話指導を行う。

【事業内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標	評価方法
事業に最適な対象者が抽出できたか 指導実施者のうち、指導プログラムを最後まで継続できた方の割合80%以上 指導後の患者の状況を確認できたか	<指導プログラム完了後> HbA1cの値が改善されたか eGFRの値が維持または改善されたか 生活習慣(BMI)が改善されたか <長期> 指導プログラムを最後まで継続された方のうち、人工透析に移行される方が0人	レセプ指導患者の定期受診時の検査値等で確認する。 レセプトデータより新規人工透析患者数の推移を確認する。

【実施スケジュール】 平成31年度以降も下記スケジュールを基本とする。

年間スケジュール														
平成30年												平成31年		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
詳細検討・調整			対象者抽出・参加勧奨						指導プログラム実施					
→			→						←					
												効果測定は翌年度実施		

(5) ジェネリック医薬品差額通知事業

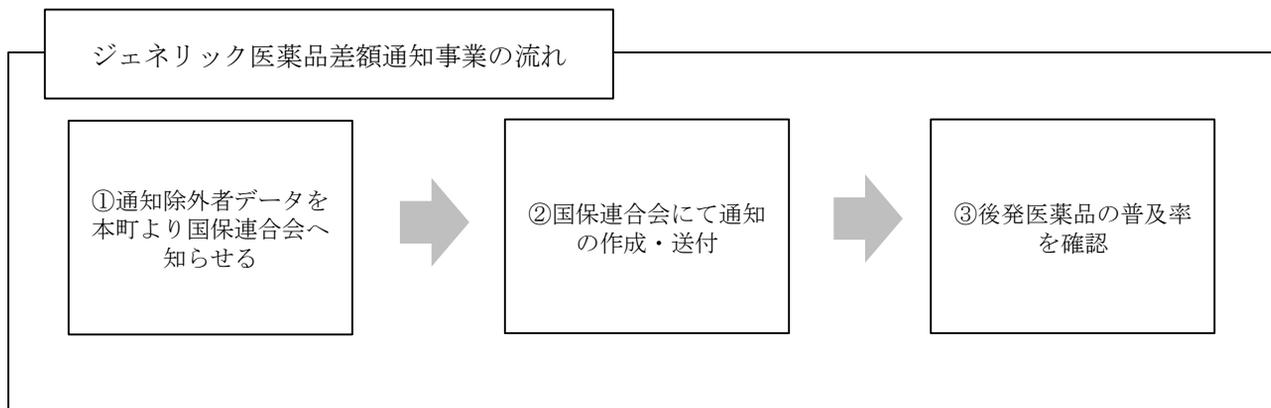
【事業目的】

ジェネリック医薬品の普及率向上

【事業概要】

後発医薬品（ジェネリック）差額通知を定期的を送付

【事業内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標	評価方法
対象者への通知率 100%	ジェネリック医薬品普及率 80%	国保連合会にて確認

【実施スケジュール】平成31年度以降も下記スケジュールを基本とする。

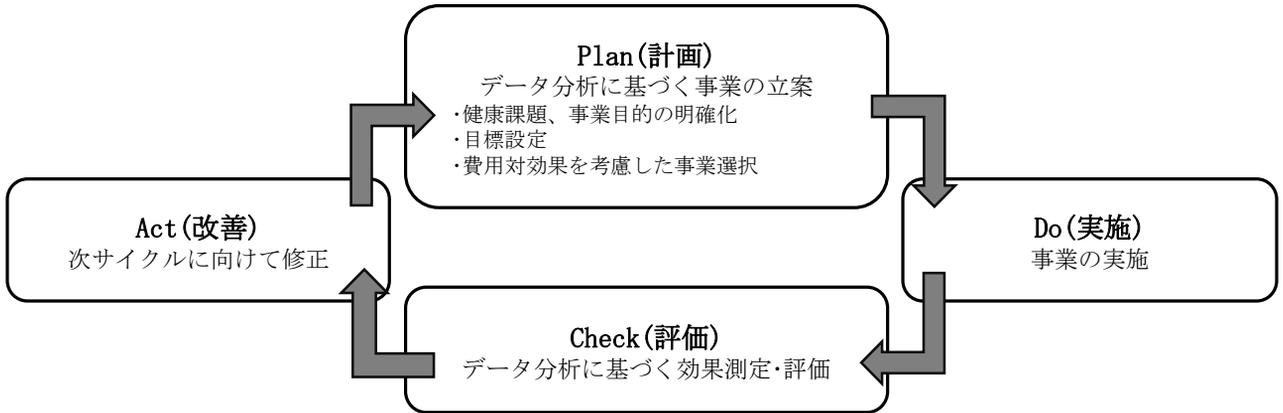
年間スケジュール														
平成30年												平成31年		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
通知スケジュール調整							通知						通知	

1. データヘルス計画の見直し

(1) 評価

本計画の目的及び目標の達成状況については、毎年度評価を行うこととする。また、中間期間等計画期間の途中で進捗確認・中間評価を行い、必要に応じて実施体制・目標値等の見直しを行う。最終年度においては、次の期の計画策定を円滑に行うため、上半期に仮評価を行うこととする。

評価・見直しに当たっては、他保険者と連携して行い、国民健康保険団体連合会に設置される支援・評価委員会に指導・助言を受けるものとする。



(2) 評価時期

本計画の評価については、各事業のスケジュールに基づき実施する。

2. 計画の公表・周知

本計画は、広報、ホームページ等で公表する。また、目標の達成状況等の公表に努め、本計画の円滑な実施等について広く意見を求めるものとする。

3. 個人情報の取り扱い

個人情報の取り扱いについては、「個人情報の保護に関する法律」「国民健康保険組合における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」「個人情報保護条例」「情報セキュリティポリシー」に基づき管理する。また、業務を外部に委託する際も同様に取扱われるよう委託契約書に定めるものとする。

4. 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項

高齢化の状況、地理的条件など、地域のおかれた現状によって必要とされる保健事業や対策も異なると考えられることから、地域包括ケアの充実を図り、地域の実態把握・課題分析を被保険者も含めた関係者間で共有し、連携して事業に取り組む。

1. 用語解説集

用語		説明
ア 行	HDLコレステロール	余分なコレステロールを回収して肝臓に運び、動脈硬化を抑える。善玉コレステロール。
	LDLコレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる。悪玉コレステロール。
カ 行	空腹時血糖	空腹時に血液中にあるブドウ糖の量を示している。検査値が高いと糖尿病の疑いがある。
	血圧(収縮期・拡張期)	血管にかかる圧力のこと。心臓が血液を送り出すときに示す最大血圧を収縮期血圧、全身から戻った血液が心臓にたまっているときに示す最小血圧を拡張期血圧という。
	高齢化率	65歳以上の高齢者が総人口に占める割合。
サ 行	ジェネリック医薬品	先発医薬品と治療学的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安い医薬品。
	疾病分類	「疾病、傷害及び死因の統計分類」の「ICD-10(2013年版) 準拠 疾病分類表」を使用。
	腎不全	腎臓の機能が低下し、老廃物を十分排泄できなくなったり、体内に不要なものや体にとって有害なものがたまっている状態。
	積極的支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクがより高い者に対して行われる保健指導。「動機付け支援」の内容に加え、対象者が主体的に生活習慣の改善を継続できるよう、面接、電話等を用いて、3か月以上の定期的・継続的な支援を行う。
タ 行	中性脂肪	体を動かすエネルギー源となる物質であるが、蓄積することにより、肥満の原因になる。
	動機付け支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高い者に対して行われる保健指導。医師・保健師・管理栄養士等による個別、またはグループ面接により、対象者に合わせた行動計画の策定と保健指導が行われる。初回の保健指導終了後、対象者は行動計画を実践し、3カ月経過後に面接、電話等で結果の確認と評価を行う。
	特定健康診査	平成20年4月から開始された、生活習慣予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査のこと。特定健診。40歳～74歳の医療保険加入者を対象とする。
	特定保健指導	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活改善により生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して行う保健指導のこと。特定保健指導対象者の選定方法により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対し実施される。
ナ 行	日本再興戦略	日本産業再興プラン・戦略市場創造プラン・国際展開戦略の3つのアクションプランを軸とする。データヘルス計画に関する内容は、戦略市場創造プランの【テーマ1：国民の「健康寿命」の延伸】の中に「予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくり」の一つとして示されている。
ハ 行	HbA1c	ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもので、過去1～2カ月の平均的な血糖の状態を示す検査に使用される。
マ 行	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わさり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい状態。内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に加えて、血圧・血糖・脂質の基準のうち2つ以上に該当する状態を「メタボリックシンドローム」、1つのみ該当する状態を「メタボリックシンドローム予備群」という。
ヤ 行	有所見	検査の結果、何らかの異常(検査基準値を上回っている等)が認められたことをいう。
ラ 行	レセプト	診療報酬請求明細書の通称。

2. 疾病分類表(2013年版)

コード	疾病分類	主な疾病		
I. 感染症及び寄生虫症				
0101	腸管感染症	下痢症	急性胃腸炎	感染性胃腸炎
0102	結核	肺結核	結核性胸膜炎	潜在性結核感染症
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	梅毒	クラミジア頸管炎	淋病
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	尋常性疣贅	帯状疱疹	単純ヘルペス
0105	ウイルス性肝炎	B型肝炎	C型肝炎	C型慢性肝炎
0106	その他のウイルス性疾患	アデノウイルス感染症	流行性角結膜炎	RSウイルス感染症
0107	真菌症	足白癬	皮膚カンジダ症	爪白癬
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	陳旧性肺結核	肺結核後遺症	小児麻疹後遺症
0109	その他の感染症及び寄生虫症	ヘリコバクター・ピロリ感染症	溶連菌感染症	敗血症
II. 新生物<腫瘍>				
0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃癌	早期胃癌	胃体部癌
0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	大腸癌	S状結腸癌	上行結腸癌
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	直腸S状部結腸癌	直腸癌術後再発
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	肝癌	肝細胞癌	原発性肝癌
0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺癌	上葉肺癌	下葉肺癌
0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌	乳房上下外側部乳癌	乳癌再発
0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	子宮体癌	子宮頸癌	子宮癌
0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	非ホジキンリンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
0209	白血病	成人T細胞白血病リンパ腫	白血病	慢性骨髄性白血病
0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌	睪癌	膀胱癌
0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	子宮筋腫	脳腫瘍	肺腫瘍
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害				
0301	貧血	鉄欠乏性貧血	貧血	巨赤芽球性貧血
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	血液凝固異常	血小板減少症
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患				
0401	甲状腺障害	甲状腺機能低下症	甲状腺機能亢進症	甲状腺腫
0402	糖尿病	糖尿病	2型糖尿病	糖尿病網膜症
0403	脂質異常症	高脂血症	高コレステロール血症	脂質異常症
0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	脱水症	高尿酸血症	卵巣機能不全
V. 精神及び行動の障害				
0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	血管性認知症	老年精神病
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	ニコチン依存症	アルコール依存症	急性アルコール中毒
0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	統合失調症様状態	幻覚妄想状態
0504	気分〔感情〕障害(躁うつ病を含む)	うつ病	うつ状態	躁うつ病
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	不安神経症	神経症	心身症
0506	知的障害<精神遅滞>	知的障害	軽度知的障害	重度知的障害
0507	その他の精神及び行動の障害	摂食障害	器質性精神障害	せん妄

コード	疾病分類	主な疾病		
VI. 神経系の疾患				
0601	パーキンソン病	パーキンソン症候群	パーキンソン病	パーキンソン病Yahr 3
0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー病	アルツハイマー型老年認知症
0603	てんかん	てんかん	症候性てんかん	精神運動発作
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	片麻痺	脳性麻痺	不全麻痺
0605	自律神経系の障害	自律神経失調症	神経調節性失神	自律神経障害
0606	その他の神経系の疾患	不眠症	片頭痛	睡眠時無呼吸症候群
VII. 眼及び付属器の疾患				
0701	結膜炎	アレルギー性結膜炎	結膜炎	慢性結膜炎
0702	白内障	白内障	加齢性白内障	後発白内障
0703	屈折及び調節の障害	近視性乱視	遠視性乱視	老視
0704	その他の眼及び付属器の疾患	ドライアイ	緑内障	眼精疲労
VIII. 耳及び乳様突起の疾患				
0801	外耳炎	外耳炎	外耳湿疹	急性外耳炎
0802	その他の外耳疾患	耳垢栓塞	耳介軟骨膜炎	耳瘻孔
0803	中耳炎	滲出性中耳炎	急性中耳炎	中耳炎
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	耳管狭窄症	耳管機能低下	真珠腫性中耳炎
0805	メニエール病	メニエール病	メニエール症候群	内耳性めまい
0806	その他の内耳疾患	良性発作性頭位めまい症	末梢性めまい症	耳性めまい
0807	その他の耳疾患	感音難聴	難聴	耳鳴症
IX. 循環器系の疾患				
0901	高血圧性疾患	高血圧症	本態性高血圧症	高血圧性心疾患
0902	虚血性心疾患	狭心症	急性心筋梗塞	心筋梗塞
0903	その他の心疾患	心不全	不整脈	慢性心不全
0904	くも膜下出血	くも膜下出血	くも膜下出血後遺症	脳動脈瘤破裂
0905	脳内出血	脳出血	脳出血後遺症	視床出血
0906	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞後遺症	多発性脳梗塞
0907	脳動脈硬化（症）	脳動脈硬化症	動脈硬化性脳症	
0908	その他の脳血管疾患	内頸動脈狭窄症	頸動脈硬化症	脳血管障害
0909	動脈硬化（症）	閉塞性動脈硬化症	動脈硬化症	動脈硬化性網膜症
0911	低血圧（症）	起立性低血圧症	低血圧症	起立性調節障害
0912	その他の循環器系の疾患	深部静脈血栓症	末梢循環障害	慢性動脈閉塞症
X. 呼吸器系の疾患				
1001	急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒>	感冒	急性鼻炎	急性鼻咽頭炎
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	咽頭炎	急性咽頭炎	扁桃炎
1003	その他の急性上気道感染症	急性上気道炎	急性咽頭喉頭炎	急性副鼻腔炎
1004	肺炎	肺炎	急性肺炎	マイコプラズマ肺炎
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎	マイコプラズマ気管支炎	クループ性気管支炎

コード	疾病分類	主な疾病		
1006	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	花粉症	季節性アレルギー性鼻炎
1007	慢性副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎	副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎急性増悪
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	気管支炎	気管気管支炎	びまん性気管支炎
1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	肺気腫	慢性閉塞性肺疾患
1010	喘息	気管支喘息	喘息性気管支炎	気管支喘息発作
1011	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ	呼吸不全	誤嚥性肺炎
X I. 消化器系の疾患				
1101	う蝕	う蝕	二次う蝕	う蝕第2度
1102	歯肉炎及び歯周疾患	歯周炎	歯肉炎	歯冠周囲炎
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	顎関節症	歯痛	顎関節炎
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	出血性胃潰瘍
1105	胃炎及び十二指腸炎	慢性胃炎	胃炎	急性胃炎
1106	痔核	内痔核	痔核	外痔核
1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害	アルコール性肝炎	アルコール性肝硬変
1108	慢性肝炎（アルコール性のものを除く）	慢性肝炎	活動性慢性肝炎	慢性肝炎増悪
1109	肝硬変（アルコール性のものを除く）	肝硬変症	原発性胆汁性肝硬変	非代償性肝硬変
1110	その他の肝疾患	肝機能障害	脂肪肝	肝障害
1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症	胆のう炎	総胆管結石
1112	膵疾患	膵炎	急性膵炎	慢性膵炎
1113	その他の消化器系の疾患	便秘症	逆流性食道炎	口内炎
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患				
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	皮膚感染症	蜂窩織炎	膿疱疹性湿疹
1202	皮膚炎及び湿疹	湿疹	皮膚炎	アトピー性皮膚炎
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮脂欠乏症	皮脂欠乏性湿疹	じんま疹
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患				
1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	痛風	関節炎
1302	関節症	変形性膝関節症	変形性関節症	変形性股関節症
1303	脊椎障害（脊椎症を含む）	腰部脊柱管狭窄症	変形性腰椎症	頸椎症
1304	椎間板障害	腰椎椎間板症	腰椎椎間板ヘルニア	頸椎椎間板ヘルニア
1305	頸腕症候群	頸肩腕症候群	頸肩腕障害	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	腰痛症	坐骨神経痛	筋筋膜性腰痛症
1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症	背部痛	頸部痛
1308	肩の傷害<損傷>	肩関節周囲炎	肩関節腱板炎	肩石灰性腱炎
1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	閉経後骨粗鬆症	脊椎骨粗鬆症
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	筋肉痛	神経痛	関節痛
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患				
1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	腎炎	腎盂腎炎	水腎症
1402	腎不全	慢性腎不全	腎性貧血	腎不全

コード	疾病分類	主な疾病		
1403	尿路結石症	腎結石症	尿管結石症	尿路結石症
1404	その他の腎尿路系の疾患	膀胱炎	腎機能低下	尿路感染症
1405	前立腺肥大（症）	前立腺肥大症	前立腺症	
1406	その他の男性生殖器の疾患	慢性前立腺炎	前立腺炎	亀頭包皮炎
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	更年期症候群	月経困難症	萎縮性膣炎
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	子宮腔部びらん	細菌性膣炎	膣炎
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく				
1501	流産	稽留流産	異所性妊娠	絨毛性疾患
1502	妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群	重症妊娠高血圧症候群	子癇
1503	単胎自然分娩	自然頭位分娩	自然分娩	単胎自然分娩
1504	その他の妊娠, 分娩及び産じょく	切迫流産	子宮内感染症	血液型不適合
X VI. 周産期に発生した病態				
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	子宮内胎児発育遅延	低出生体重児	早産児
1602	その他の周産期に発生した病態	新生児黄疸	胎児ジストレス	A B O 因子不適合
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常				
1701	心臓の先天奇形	心房中隔欠損症	心室中隔欠損症	先天性心疾患
1702	その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	足底角化症	角皮症	毛孔性苔癬
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				
1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	頭痛	嘔吐症	めまい症
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響				
1901	骨折	腰椎圧迫骨折	肋骨骨折	大腿骨頸部骨折
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳挫傷	外傷性脳出血	硬膜下血腫
1903	熱傷及び腐食	熱傷	第2度熱傷	手熱傷
1904	中毒	刺虫症	蜂刺症	食中毒
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	打撲傷	結膜異物	捻挫
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用				
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	検診	健康診断	胃癌検診
2102	予防接種	予防接種		
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	妊娠	正常妊娠	多産婦
2104	歯の補てつ			
2105	特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者	抜釘	気管切開口に対する手当て	骨髄移植ドナー
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	白内障術後	ペースメーカー植え込み後	人工股関節置換術後
X X II. 特殊目的用コード				
2210	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	重症急性呼吸器症候群		
2220	その他の特殊目的用コード			
分類外				
9999	分類外	ICD-10及び疾病分類に該当のない疾病		